

公的年金に関する情報発信に係る調査研究 結果（概要）

平成26年5月21日
厚生労働省年金局企画官 成松英範

現在、最終調整等を行っており、今後、内容が一部変更される場合があります。
また、調査結果に対する評価等の中には、講演者の私見が含まれる場合があります。

公的年金に関する情報発信に関する調査研究

- ・平成26年1月～3月に実施（委託先 電通）
 - ・委託内容
- ① 若年者等の意識・行動の調査・分析（サンプル計1500）
 - ② 費用対効果分析手法の調査
 - ③ ①の結果を踏まえたアプローチツールの作成・試行

→ ②は既存の事例関係が中心であるので、今回は①及び③の概要を説明

上記に当たっては、次の有識者からの意見を伺いつつ進めた
(計6回ご参集)

大妻女子短期大学教授
TIMコンサルティング
流通経済大学講師
フィナンシャル・ウィズダム
電通総研

玉木伸介さん
原佳奈子さん
百瀬優さん
山崎俊輔さん
中尾潤さん

目的: 20～30代の第1号被保険者を対象として、公的年金制度に対する意識・行動をセグメント化する。
未納リスクの高い層に焦点をあて、公的年金制度に対する意識、不安・不信要因、未納の要因について深堀する。
20～59才の一般層についても同様の調査を実施し比較分析も行う。

方法: インターネット調査

対象: ①全国 20～39才の第1号被保険者 1000ss
②全国 20～59才の一般男女 500ss(国民全体との比較分析用)

(年代×公的年金制度への加入状況によって割付。地域はエリアごとの人口構成比で配信)

※国民年金保険料の未納要因を深堀可能なサンプル数とした。

※全体傾向を分析可能なサンプル数とした。

【回収数】①20～39才 第1号被保険者 1000ss

	全体	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
第1号被保険者	1000	395	202	190	213

②20～59才 一般男女 500ss

	全体	20代	30代	40代	50代
全体	500	108	140	129	123
第1号被保険者	149	45	33	31	40
第2号被保険者	274	57	82	73	62
第3号被保険者	77	6	25	25	21

本調査では、公的年金制度に対する不安・不信要因、保険料の未納要因、およびその背景的な要因を解明すべく、45問に渡って以下の事柄について聴取した。今後の情報発信施策のヒントを得るために、メディアの接触状況についても聴取している。

基本属性

本人

性・年齢
未既婚
世帯構成
長子年齢
最終学歴

世帯・個人年収

就業形態
業種・職種
就業先の事業規模

利用している金融商品
住居の種類

配偶者

最終学歴
就業形態
公的年金の加入状況

親

最終学歴
就業形態
公的年金の加入状況

公的年金制度の基本的な仕組みの理解度

公的年金制度に関する
情報接触状況
(マスメディア、教育、WEB、ロコミ)

不信や不安につながる
公的年金制度に対する認識

納付の利便性向上施策
(認知、利用、意向)

納付の免除・猶予制度
(認知、利用、意向)

公的年金制度に対する信頼度・印象 (overall impression)

国民年金保険料の納付状況

今とこれまでの納付状況

納付行動の変容経験
(例：未納→納付、未納→免除・猶予)

滞納に至った経緯、要因、今後の納付意向

メッセージの評価

日常の情報接触行動

マスメディアや街中メディアなど
オフラインメディア

WEBコンテンツやSNSなど
オンラインメディア

調査結果の要約編

● 公的年金制度に対する不安や不信感は大きい

- 国民の公的年金制度に対する不安や不信感は大きく、20～39歳の国民年金加入者の8割以上の方が公的年金制度はいずれ破綻する可能性があると考えている。
- 破綻すると考える理由は多岐にわたるが、世代間の人口のアンバランスや滞納者の増大、それにより財源が枯渇するとのイメージが破綻理由の筆頭である。そのため十分な年金が受け取れないとの連想が働き、強い不安や不信感が生まれることになる。
- 専門家からみれば、それらの破綻理由は表層的・一面的な見解にも思えるが、国民の頭の中では揺るぎ難い理屈として成立しており、その理屈を修正するには大きな困難を伴うであろう。

● 生活不安や規範・連帯意識が国民年金保険料の滞納をせきとめている

- ただし、制度に対する不安・不信が必ずしも滞納行動に直結するわけではない。不安や不信感を抱きつつも、毎月欠かさず保険料を支払っている国民年金加入者が大勢いるのもまた事実だからだ。
- 今と将来の生活に対する漠とした不安、社会人としての規範意識、また公的年金制度が社会全体の支え合いであるとの意識、それらの相乗効果で保険料の滞納は、たとえ生じたとしても一時的なものにせきとめられている。
- 「(強い確信を伴わずとも)公的年金制度の土俵にはひとまず乗っかって置こう」とする素朴な信頼感を若年層を中心に醸成していくことが今後の保険料の滞納問題を占う鍵となるであろう。

● 制度不安・不信が長期滞納を正統化しているモデルが見いだせる

- 滞納行動は、最初は支払いを「たまたま忘れた、先延ばししてしまっていた」という小さな要因で始まることが多い。そこに世帯・個人の収入減や支出の増大、失業や離職、転職などの仕事上の変化が加わり、滞納の長期化が誘発されることになる。
- 公的年金制度への不安や不信感が滞納行動に影響を与えるのはこの段階である。保険料を支払わないことを正統化する格好の口実として、制度への不安や不信感が若年層の頭の中に浮上し、滞納行動を長引かせてしまう。

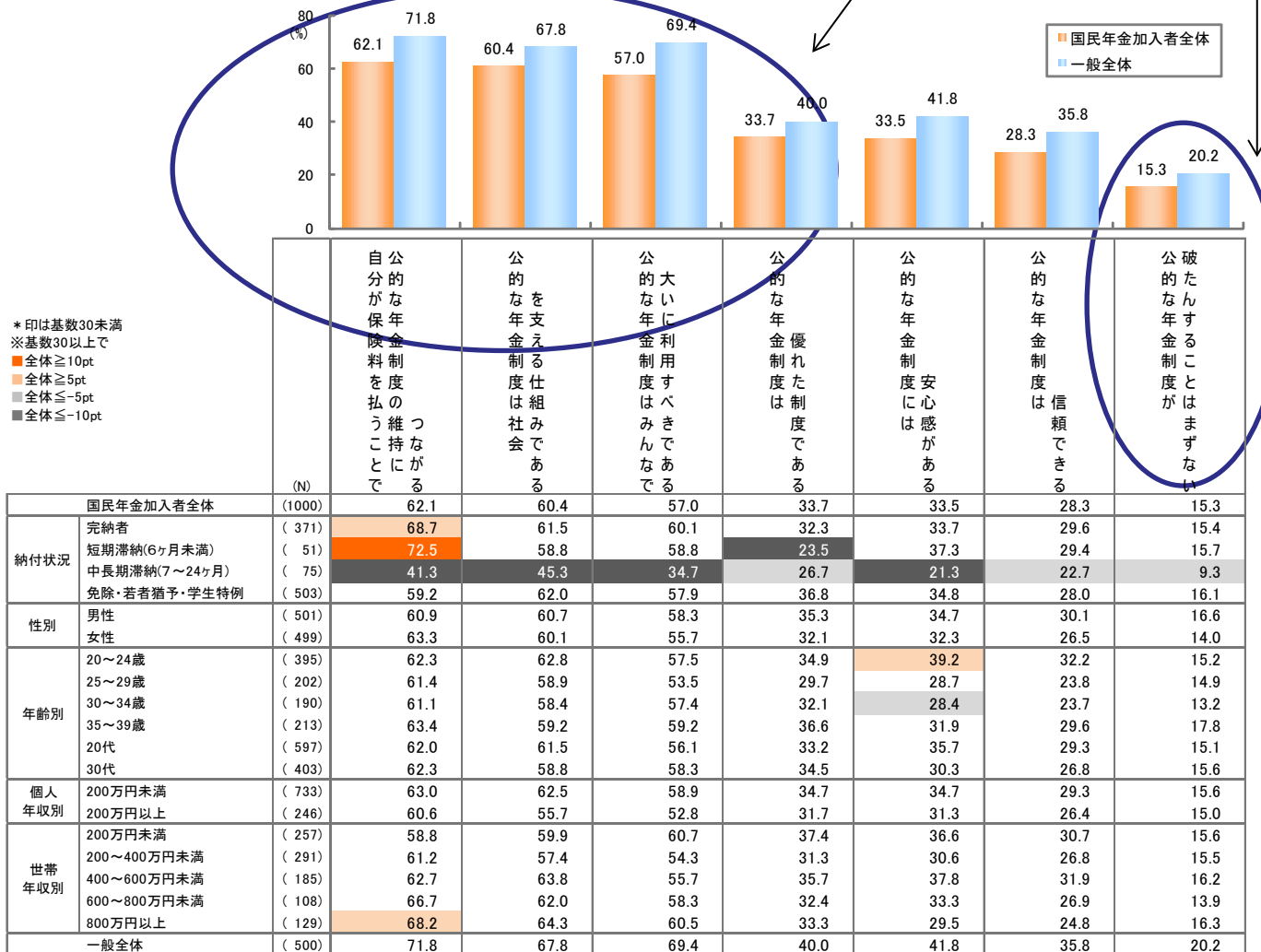
● マスメディア対策や、若年層にとっても自分ごと化しやすい情報発信を第三者からの発信を含めて進める

- 公的年金制度が、①老後の生活不安のみならず、(障害・遺族年金によって)今の生活不安にもダイレクトに応え得る制度であること、②自分が支払う保険料が社会が支え合う原資になる得ることを広く周知させ、滞納の長期化をせきとめる意識の壁をつくることが重要である。
- 制度不安や不信の解消も不可欠である。制度への認識まだ中立的な段階にあるエントリー層(高校生や大学生、新社会人など)への教育機会の拡大や、偏りのない、正しい啓発情報がマスメディアから発信される環境づくりが必要となる。
- さらに、若年層に支持される著名人に、国民目線で公的年金制度について語ってもらい、発信情報を自分ごと化しやすくするPR展開も有効であろう。
- また、身近な相談相手(親、社労士、年金委員、ファイナンシャルプランナーなど)から、本人の立場に応じた適切な情報提供や助言がなされる環境づくりも制度の不信・不安の解消に効果があると考えられる。

1. 公的年金制度に対する信頼度・印象(Q1)

国民年金加入者の多くが公的年金制度に対し不安や不信を抱いている。8割以上が公的年金制度は破綻する可能性があると考えていることも明らかとなった。その一方で、過半数の人が年金制度の利用価値を認め、自分の貢献と制度維持が不可分であるとの見解も持つ。加入者と年金制度との運命共同体的な関係を認識していることが露呈される結果となった。

Q1. 公的年金制度なに対し、あなたはどのようにお考えですか。(単一回答)

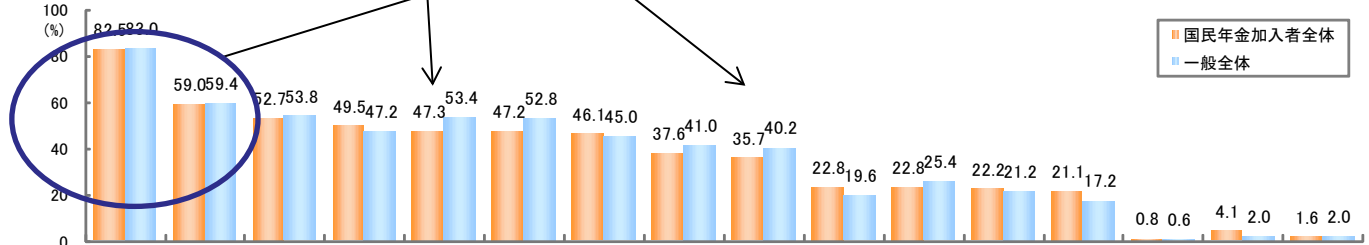


【基数：対象者全員】 そう思う計（そう思う+ややそう思う）

2. 公的年金制度が破綻すると思う理由(Q21-1)

世代間の人口のアンバランスや滞納者の増大により財源が枯渇するとのイメージが、年金破綻という強い疑念を生んでいる。積立金の無駄遣いや運用への懸念も破綻不安に陰を落とす。とりわけ、30代前半や短期滞納者は年金制度へ厳しい目を注いでいることがうかがえる。

Q21. ①公的年金制度が将来的に破綻するとしたらどのような理由からだと思えますか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■全体≥10pt
 ■全体≥5pt
 ■全体≤-5pt
 ■全体≤-10pt

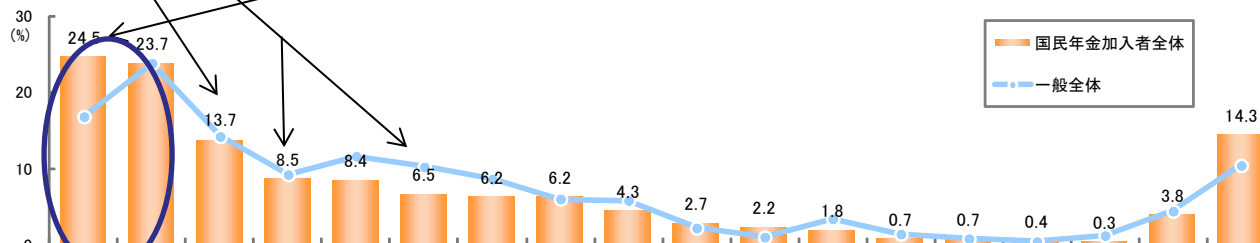
	(N)	支えられない側で老後の生活が不安になる	経済的な理由から年金が払えない	長生きを続ける人が増えるため年金が足りない	もろい年金の給付額が減少する	国民の積立金が無くなる	経済の低迷で年金が払えない	国の財政が悪化しているため	年金の不祥事などが問題になる	集めた保険料の運用がうまくいかない	もらえない年金が反対するため	社会全体で助けが必要	マスメディアや周囲の見聞から	個人年金などが増えるため	この中にはない	よくわからない	公的な年金制度とは思えない	
国民年金加入者全体	(1000)	82.5	59.0	52.7	49.5	47.3	47.2	46.1	37.6	35.7	22.8	22.8	22.2	21.1	0.8	4.1	1.6	
納付状況	完納者	(371)	83.0	59.6	54.4	49.9	48.5	45.6	46.1	37.7	37.7	23.7	22.9	19.1	19.1	0.8	2.7	2.2
	短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	86.3	72.5	58.8	54.9	62.7	56.9	58.8	47.1	45.1	25.5	17.6	25.5	21.6	-	7.8	2.0
	中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	69.3	61.3	44.0	50.7	52.0	42.7	42.7	44.0	41.3	16.0	16.0	32.0	21.3	1.3	9.3	1.3
	免除・若者猶予・学生特例	(503)	83.7	56.9	52.1	48.5	44.1	48.1	45.3	35.6	32.4	22.9	24.3	22.7	22.5	0.8	4.0	1.2
性別	男性	(501)	81.4	50.7	53.3	45.7	42.5	43.7	43.7	37.1	35.3	25.3	20.2	18.6	17.0	1.4	3.8	1.8
	女性	(499)	83.6	67.3	52.1	53.3	52.1	50.7	48.5	38.1	36.1	20.2	25.5	25.9	25.3	0.2	4.4	1.4
年齢別	20~24歳	(395)	84.8	51.1	50.1	50.4	40.3	43.3	42.0	31.9	27.1	23.5	21.8	21.0	24.1	0.8	4.3	1.5
	25~29歳	(202)	79.7	63.9	53.0	48.5	52.0	50.5	47.5	37.6	37.1	23.8	26.7	25.2	23.3	1.0	4.0	1.0
	30~34歳	(190)	80.0	63.7	54.2	47.9	55.3	46.3	51.1	44.2	44.7	23.7	21.6	21.1	20.0	0.5	4.7	1.6
	35~39歳	(213)	83.1	64.8	55.9	50.2	48.8	52.1	47.9	42.3	42.3	19.7	22.1	22.5	14.6	0.9	3.3	2.3
	20代	(597)	83.1	55.4	51.1	49.7	44.2	45.7	43.9	33.8	30.5	23.6	23.5	22.4	23.8	0.8	4.2	1.3
30代	(403)	81.6	64.3	55.1	49.1	51.9	49.4	49.4	43.2	43.4	21.6	21.8	21.8	17.1	0.7	4.0	2.0	
個人年収別	200万円未満	(733)	82.8	58.9	52.8	49.1	46.5	47.7	46.2	37.2	34.5	23.7	23.2	22.1	22.0	0.8	4.2	1.8
	200万円以上	(246)	82.9	60.6	52.8	49.6	50.0	46.7	46.7	39.8	38.6	20.7	22.4	22.8	18.3	0.8	2.0	1.2
世帯年収別	200万円未満	(257)	84.8	58.4	51.4	47.5	43.2	45.9	43.2	33.9	30.0	21.0	22.2	18.7	22.2	-	5.4	1.9
	200~400万円未満	(291)	77.7	63.9	55.3	50.9	54.6	52.6	50.9	40.2	37.8	23.4	25.4	29.9	22.7	1.0	3.4	2.7
	400~600万円未満	(185)	87.6	64.9	52.4	55.1	46.5	51.4	48.6	39.5	40.5	24.9	19.5	20.0	17.8	0.5	2.7	1.1
	600~800万円未満	(108)	82.4	49.1	50.9	49.1	49.1	40.7	43.5	38.0	36.1	23.1	20.4	18.5	23.1	0.9	1.9	0.9
800万円以上	(129)	84.5	51.2	53.5	41.1	39.5	40.3	40.3	38.0	32.6	23.3	26.4	19.4	18.6	1.6	3.1	-	
一般全体	(500)	83.0	59.4	53.8	47.2	53.4	52.8	45.0	41.0	40.2	19.6	25.4	21.2	17.2	0.6	2.0	2.0	

【基数：対象者全員】

3. 公的年金制度に関する自由回答: 疑問・不満点(Q26)

公的年金制度に対する疑問や改善点の自由回答では、「本当に年金が支払われるのか？」などの不確実性や「若い人ほど不利」などの不公平感を指摘する声が多く挙がった。制度のわかりづらさや運営の不透明性に対しても不信感を募らせている様子もうかがえた。

Q26. あなたが現行の公的年金制度に対して疑問に思うものや改善してほしい点をお知らせください。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ 5pt
 ■ 全体 ≤ 10pt

	(N)	実際に支払われないか/将来の不安	破綻しないか/将来の不安	支払う金額が増える一方	もらえる金額が減る一方	若い人ほど不利/世代格差	制度が分かりづらい/安心	税金の実際の使い道・不祥事	きちんと運営されていない	支払う期間/受給年齢について	低所得者/学生などの配慮	未納者への対応	廃止してほしい	支払いの義務をなくして欲しい	生活保護/不正受給について	積み立て方式にして欲しい	全て/たくさんある	年金定期便	議員年金や公務員の年金について	その他	特になし/わからない
国民年金加入者全体	(1000)	24.5	23.7	13.7	8.5	8.4	6.5	6.2	6.2	4.3	2.7	2.2	1.8	0.7	0.7	0.4	0.3	3.8	14.3		
納付状況	完納者 (371)	27.2	26.1	13.2	6.5	7.5	8.1	6.7	4.9	5.4	1.6	1.6	2.2	1.1	0.5	0.5	0.3	3.5	13.2		
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	21.6	27.5	15.7	11.8	17.6	9.8	2.0	11.8	2.0	5.9	2.0	-	-	-	-	-	2.0	9.8		
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	21.3	21.3	12.0	10.7	8.0	1.3	5.3	9.3	4.0	1.3	2.7	2.7	1.6	1.3	-	-	-	5.3	21.3	
	免除・若者猶予・学生特例 (403)	23.3	21.9	14.1	9.3	8.2	5.8	6.4	6.2	3.8	3.4	2.6	1.6	0.6	0.8	0.4	0.4	4.0	14.5		
性別	男性 (501)	19.6	17.0	16.0	7.8	9.4	8.2	6.0	6.0	5.4	3.6	2.4	2.4	0.8	0.8	-	0.2	4.0	14.6		
	女性 (499)	29.5	30.5	11.4	9.2	7.4	4.8	6.4	6.4	3.2	1.8	2.0	1.2	0.6	0.6	0.8	0.4	3.6	14.0		
年齢別	20~24歳 (395)	27.8	21.3	18.0	8.6	5.3	5.8	4.6	5.3	3.3	1.0	2.0	0.5	0.8	1.3	0.3	0.3	3.5	13.7		
	25~29歳 (202)	25.7	29.2	7.9	9.9	9.4	5.4	8.9	7.4	4.0	3.5	3.0	2.5	-	-	-	-	2.0	16.3		
	30~34歳 (190)	23.2	25.8	10.0	10.5	10.5	9.5	6.8	5.8	3.7	2.6	2.1	2.1	1.1	1.1	0.5	1.1	4.2	10.5		
	35~39歳 (213)	18.3	21.1	14.6	5.2	11.3	6.1	6.1	7.0	7.0	5.2	1.9	3.3	0.9	-	0.9	-	5.6	16.9		
	20代 (597)	27.1	24.0	14.6	9.0	6.7	5.7	6.0	6.0	3.5	1.8	2.3	1.2	0.5	0.8	0.2	0.2	3.0	14.6		
30代 (403)	20.6	23.3	12.4	7.7	10.9	7.7	6.5	6.5	5.5	4.0	2.0	2.7	1.0	0.5	0.7	0.5	5.0	13.9			
個人年収別	200万円未満 (733)	24.7	24.6	14.1	9.1	7.6	6.0	6.1	6.8	4.9	2.5	1.6	1.6	0.7	0.7	0.5	0.4	3.7	14.6		
	200万円以上 (246)	24.8	21.5	12.6	7.3	11.0	8.5	6.5	4.9	2.8	2.8	3.7	2.0	0.8	0.8	-	-	3.7	10.6		
世帯年収別	200万円未満 (257)	21.8	26.5	12.8	8.9	5.8	4.7	5.4	4.7	6.6	2.3	1.6	1.9	0.8	0.4	0.4	-	3.1	18.3		
	200~400万円未満 (291)	23.7	22.0	13.1	8.6	12.0	7.2	7.6	7.9	3.4	4.1	3.4	0.7	0.3	0.7	0.3	0.7	3.1	14.4		
	400~600万円未満 (185)	27.0	23.2	14.6	8.1	11.9	5.4	9.2	9.2	3.2	2.7	0.5	3.2	0.5	1.1	1.1	-	3.8	9.2		
	600~800万円未満 (108)	27.8	22.2	9.3	8.3	5.6	10.2	1.9	3.7	4.6	0.9	2.8	0.9	2.8	0.9	-	-	5.6	9.3		
	800万円以上 (129)	27.1	24.0	20.2	9.3	3.1	7.8	4.7	4.7	3.9	0.8	2.3	2.3	-	-	-	0.8	4.7	11.6		
一般全体	(500)	16.8	23.8	14.2	9.2	11.6	10.2	8.6	6.0	5.8	2.2	1.0	3.4	1.4	0.8	0.4	1.2	4.4	10.4		

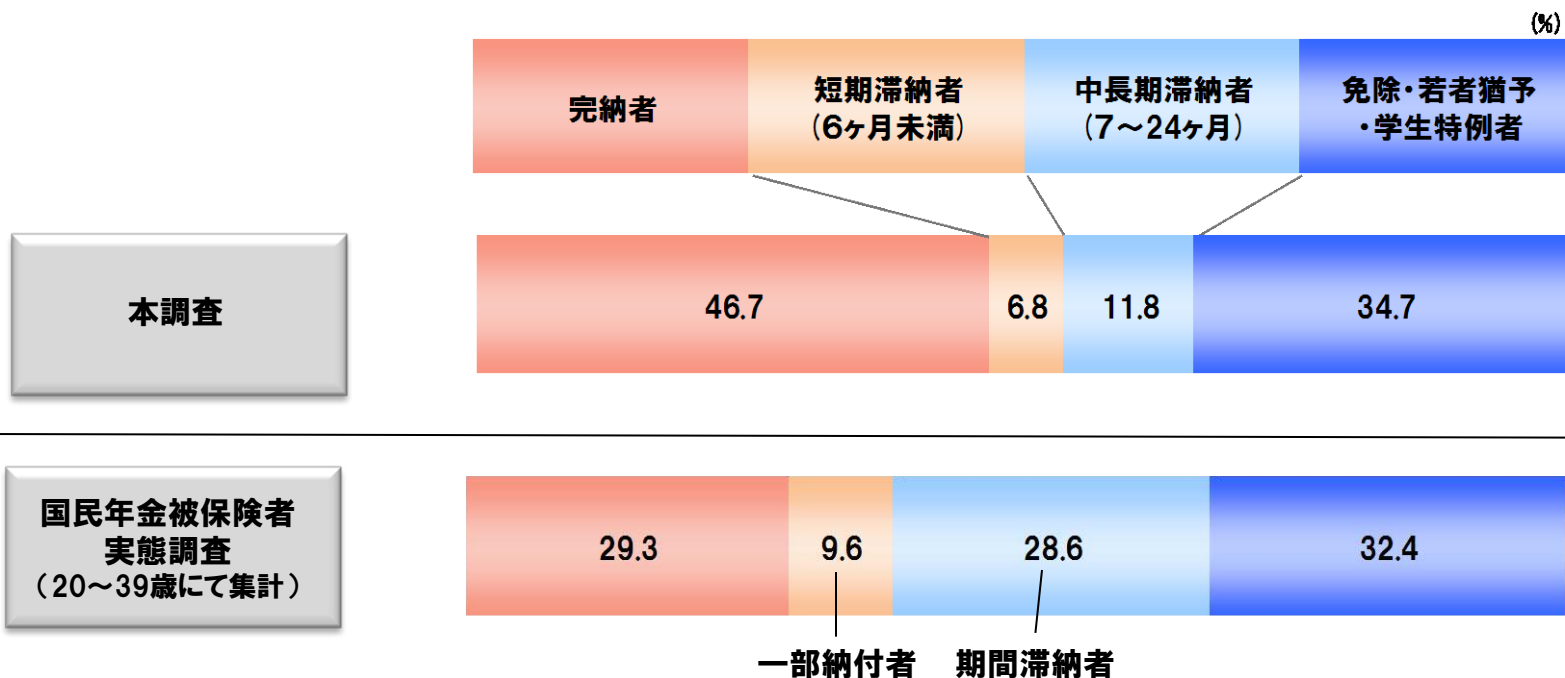
[基数: 対象者全員]

4. 国民年金保険料の過去2年間の支払い状況(Q2×Q16)

20～39歳の国民年金加入者を対象者とした今回の調査では、過去2年間全て保険料を支払った人の割合は46.7%であった。同じ2年間に滞納期間のある人は18.6%である(そのうち6割強は滞納期間が半年以上の中長期滞納者)。一方で全体の3割強の人が支払いの免除や猶予制度を利用している。

Q2. あなたは、過去2年間(2012年1月～2013年12月の間)に、国民年金の保険料を支払いましたか。(単一回答)

Q16. 国民年金制度の以下のサービスやしくみを、あなたは実際にご利用になったことがありますか。(単一回答)



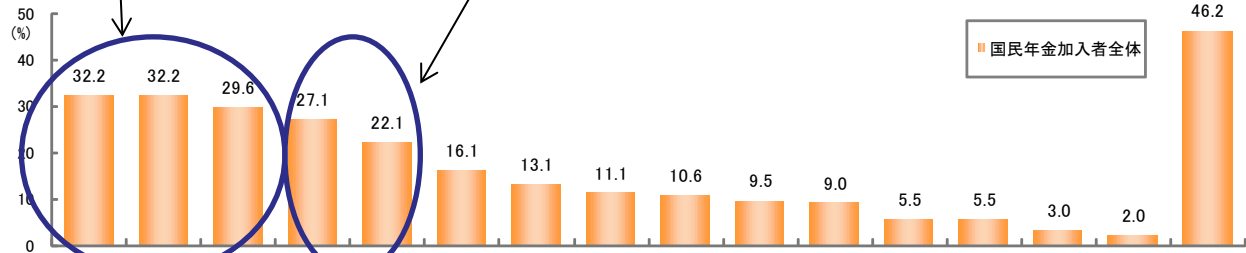
2011年11月～2012年2月に2.3万人を対象に実施された国民年金被保険者実態調査では、20～39歳の国民年金加入者のうち、1年間全て支払った完納者は29.3%、1ヵ月でも滞納のある納付者(一部納付者)は9.6%、1年間全く支払っていない滞納者(期間滞納者)は28.6%。全額免除・猶予・特例者の合計は32.4%であった。インターネット調査で実施した本調査の完納者は46.7%であり、短期・中長期の滞納者を併せると18.6%。郵送調査で行った国民年金被保険者実態調査の結果とは大きな乖離がある。

※本調査では2年間の納付実績をもとに完納者と滞納者の割合を求めているが、国民年金被保険者実態調査では1年間の納付実績がベースとなっている。両者の比較には留意が必要である。

5. 国民年金保険料を支払っていない理由(Q6)

中長期滞納者では、漠とした制度不安、行政不信、払った分がもらえないことなどが滞納理由に多く挙がった。また、その割合はやや小さくなるが、老後への備えとして不確実であることや制度運営の不透明性も滞納理由として挙がった。一方で、積極的な自助努力で対処している様子もなく、滞納を続けつつ老後への不安を募らせているようである。そうした不安定な心理状況で滞納を続ける口実として、中長期滞納者たちは公的年金制度にますますレッテルを貼るようになる。

Q6. あなたが、国民年金の保険料を支払わなかったのは、どのような考えや気持ちからですか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

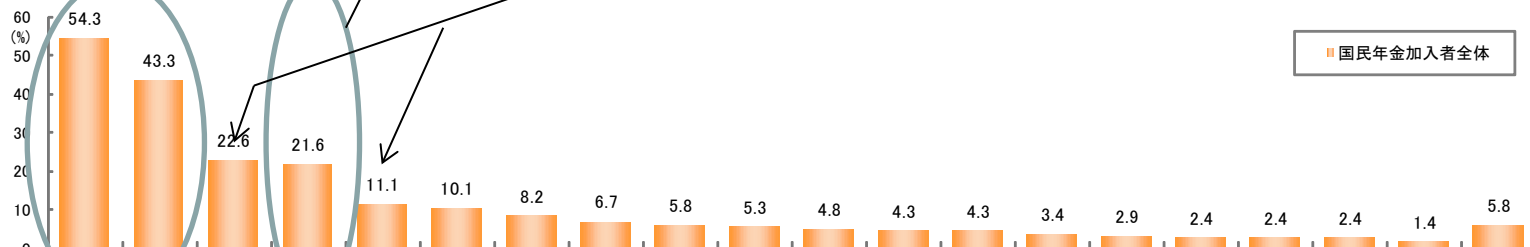
	(n)	公的年金制度の将来が不安だから	公的年金信託制度で政府の都合により	支払うべき額が少なくないと思うから	老後に暮らしていきないうから	老後にも分らないから	公的年金の仕組みが	多く払っていないと思うから	支払わなくてもいいから	今から老後の考えられないから	これからの保険料を支払って	公的年金を受け取る	公的年金より他の金融から	品の方が金利が良いから	いざとなったら生活保護	自分から老後に備えられ	公的年金をもらえなく	その他
国民年金加入者全体	(199)	32.2	32.2	29.6	27.1	22.1	16.1	13.1	11.1	10.6	9.5	9.0	5.5	5.5	3.0	2.0	46.2	
納付状況																		
中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	42.7	41.3	34.7	36.0	28.0	14.7	16.0	13.3	9.3	14.7	13.3	5.3	4.0	4.0	4.0	40.0	
免除・若者猶予・学生特例	(124)	25.8	26.6	26.6	21.8	18.5	16.9	11.3	9.7	11.3	6.5	6.5	5.6	6.5	2.4	0.8	50.0	
性別																		
男性	(91)	28.6	24.2	24.2	16.5	14.3	13.2	12.1	13.2	9.9	8.8	8.8	5.5	6.6	1.1	2.2	51.6	
女性	(108)	35.2	38.9	34.3	36.1	28.7	18.5	13.9	9.3	11.1	10.2	9.3	5.6	4.6	4.6	1.9	41.7	
年齢別																		
20~24歳	(65)	32.3	24.6	20.0	18.5	21.5	21.5	13.8	13.8	10.8	1.5	4.6	4.6	4.6	1.5	-	43.1	
25~29歳	(41)	36.6	39.0	39.0	26.8	24.4	17.1	12.2	12.2	12.2	7.3	14.6	4.9	7.3	-	-	41.5	
30~34歳	(41)	31.7	36.6	34.1	26.8	12.2	17.1	14.6	14.6	14.6	7.3	7.3	2.4	4.9	7.3	4.9	43.9	
35~39歳	(52)	28.8	32.7	30.8	38.5	28.8	7.7	11.5	3.8	5.8	23.1	11.5	9.6	5.8	3.8	3.8	55.8	
20代	(106)	34.0	30.2	27.4	21.7	22.6	19.8	13.2	13.2	11.3	3.8	8.5	4.7	5.7	0.9	-	42.5	
30代	(93)	30.1	34.4	32.3	33.3	21.5	11.8	12.9	8.6	9.7	16.1	9.7	6.5	5.4	5.4	4.3	50.5	
個人年取別																		
200万円未満	(152)	30.3	28.9	26.3	24.3	20.4	15.1	11.8	11.2	10.5	8.6	7.9	5.3	5.9	2.0	2.6	49.3	
200万円以上	(41)	34.1	41.5	41.5	39.0	26.8	19.5	19.5	12.2	12.2	12.2	14.6	7.3	4.9	7.3	-	39.0	
世帯年取別																		
200万円未満	(53)	20.8	22.6	22.6	20.8	15.1	13.2	11.3	11.3	3.8	7.5	5.7	3.8	9.4	1.9	-	52.8	
200~400万円未満	(71)	35.2	36.6	36.6	31.0	23.9	11.3	18.3	14.1	15.5	14.1	8.5	7.0	5.6	2.8	2.8	54.9	
400~600万円未満	(30)	36.7	36.7	40.0	33.3	30.0	13.3	3.3	10.0	13.3	10.0	20.0	6.7	-	6.7	3.3	40.0	
600~800万円未満	(* 16)	31.3	43.8	25.0	31.3	25.0	43.8	25.0	12.5	18.8	-	18.8	-	12.5	6.3	-	18.8	
800万円以上	(* 19)	36.8	15.8	15.8	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	5.3	5.3	-	10.5	-	-	-	42.1	

【基数: 過去6ヶ月以上未納者】

6. 国民年金保険料を滞納し始めた理由・経緯(Q11)

滞納し始めた理由として、収入が減ったことや、離職・失業・転職など仕事の上の変化が多く挙げられた。滞納期間の長短で挙げる理由に差がみられ、短期滞納者では支払いの失念や先送りの理由も少なくない。20代では免除・猶予申請の過渡期での一時的な滞納が目立っている。

Q11. あなたがそれまで支払っていた国民年金の保険料を支払わなくなったのはどのような理由からですか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■全体 ≥10pt
 ■全体 ≥5pt
 ■全体 ≤-5pt
 ■全体 ≤-10pt

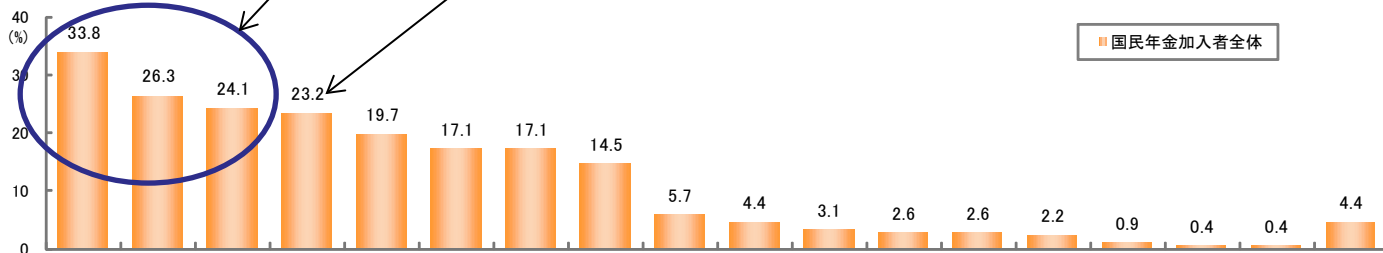
	(n)	自分や家族の収入が減ったから	自分の仕事が変わったから	いずれれ免除や猶予申請の制度の思いつから	自分や家族の収入が増えないから	すっかり忘れていたから	後でまとめて支払おうとしたから	住宅ローンや借金、クレジットなどの返済があるから	督促や延滞金支払いの通知が来たから	家族の仕事が変わったから	自分や家族が事故に遭ったから	生活費や趣味などが増えたから	親や親類などが代わりに支ら	貯蓄や生命保険、その他の金から	金融商品のためにお金をから	自分や家族が厚生年金から国民年金になったから	マスコミやインターネットの影響を受けたから	身近に保険料を支払ってない人がいると知ったから	生活保護、障害年金	結婚や出産で家族が影響してきたから	増えたことが影響したから	死別や離婚などで家族が影響したから	減ったことが影響したから	その他
国民年金加入者全体	(208)	54.3	43.3	22.6	21.6	11.1	10.1	8.2	6.7	5.8	5.3	4.8	4.3	4.3	3.4	2.9	2.4	2.4	2.4	2.4	1.4	1.4	5.8	
納付状況																								
完納者	(* 27)	66.7	40.7	7.4	7.4	3.7	7.4	7.4	3.7	7.4	7.4	-	-	-	3.7	-	-	-	3.7	3.7	-	-	14.8	
短期滞納(6ヶ月未満)	(31)	45.2	38.7	16.1	9.7	25.8	19.4	9.7	-	-	3.2	6.5	-	-	3.2	-	3.2	-	3.2	-	-	-	-	
中長期滞納(7~24ヶ月)	(54)	57.4	44.4	14.8	35.2	9.3	13.0	7.4	14.8	5.6	5.6	7.4	5.6	11.1	3.7	5.6	7.4	-	1.9	-	-	-	1.9	
免除・若者猶予・学生特例	(96)	52.1	44.8	33.3	21.9	9.4	6.3	8.3	5.2	7.3	5.2	4.2	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	-	3.1	3.1	3.1	3.1	7.3	
性別																								
男性	(99)	53.5	45.5	20.2	20.2	13.1	11.1	8.1	8.1	4.0	6.1	4.0	4.0	3.0	3.0	1.0	5.1	4.0	1.0	1.0	-	-	6.1	
女性	(109)	55.0	41.3	24.8	22.9	9.2	9.2	8.3	5.5	7.3	4.6	5.5	4.6	5.5	3.7	4.6	-	0.9	3.7	3.7	2.8	2.8	5.5	
年齢別																								
20~24歳	(40)	45.0	35.0	40.0	17.5	22.5	15.0	5.0	2.5	10.0	7.5	5.0	7.5	2.5	7.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	-	-	-	
25~29歳	(51)	58.8	51.0	27.5	25.5	7.8	5.9	9.8	9.8	7.8	2.0	3.9	-	5.9	3.9	5.9	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
30~34歳	(53)	60.4	47.2	17.0	17.0	7.5	9.4	7.5	5.7	5.7	3.8	7.5	3.8	1.9	3.8	-	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	9.4	
35~39歳	(64)	51.6	39.1	12.5	25.0	9.4	10.9	9.4	7.8	1.6	7.8	3.1	6.3	6.3	-	3.1	3.1	4.7	3.1	3.1	1.6	1.6	9.4	
20代	(91)	52.7	44.0	33.0	22.0	14.3	9.9	7.7	6.6	8.8	4.4	4.4	3.3	4.4	5.5	4.4	1.1	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1	1.1	
30代	(117)	55.6	42.7	14.5	21.4	8.5	10.3	8.5	6.8	3.4	6.0	5.1	5.1	4.3	1.7	1.7	3.4	3.4	2.6	1.7	1.7	1.7	9.4	
個人年収別																								
200万円未満	(142)	54.9	45.8	24.6	21.1	12.7	8.5	7.7	7.7	7.0	4.2	4.9	4.9	3.5	2.8	3.5	2.1	1.4	2.8	2.1	2.8	2.1	4.2	
200万円以上	(62)	54.8	37.1	17.7	21.0	8.1	14.5	9.7	4.8	3.2	6.5	4.8	3.2	6.5	4.8	1.6	3.2	4.8	1.6	-	-	-	9.7	
世帯年収別																								
200万円未満	(52)	51.9	38.5	26.9	15.4	7.7	5.8	7.7	7.7	3.8	-	5.8	1.9	3.8	-	1.9	1.9	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	7.7	
200~400万円未満	(85)	58.8	51.8	20.0	27.1	15.3	7.1	12.9	9.4	9.4	8.2	7.1	7.1	4.7	7.1	4.7	2.4	1.2	3.5	1.2	3.5	1.2	3.5	
400~600万円未満	(32)	56.3	43.8	25.0	25.0	3.1	15.6	6.3	6.3	3.1	6.3	-	6.3	6.3	-	3.1	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	15.6	
600~800万円未満	(* 17)	41.2	29.4	23.5	23.5	11.8	17.6	-	-	5.9	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
800万円以上	(* 15)	53.3	33.3	20.0	-	6.7	20.0	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	-	-	-	-	

【基数：支払っていた国民年金の保険料を支払わなかった】

7. 国民年金保険料の支払いを再開した理由・経緯(Q9)

支払いを再開し始めたきっかけとしては、滞納分の一括払いが可能となったことや督促通知の受け取りが上位に挙がった。短期滞納者では“滞納していることを単に思い出した”ことが支払い再開理由の4割を超えている。滞納期間が長期化する手前の段階では、単純な失念や先送りの防止策が滞納の芽を摘む有効な手段であることが示唆された。

Q9. あなたが滞納していた国民年金の保険料を支払うようになったのはどのような理由からですか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

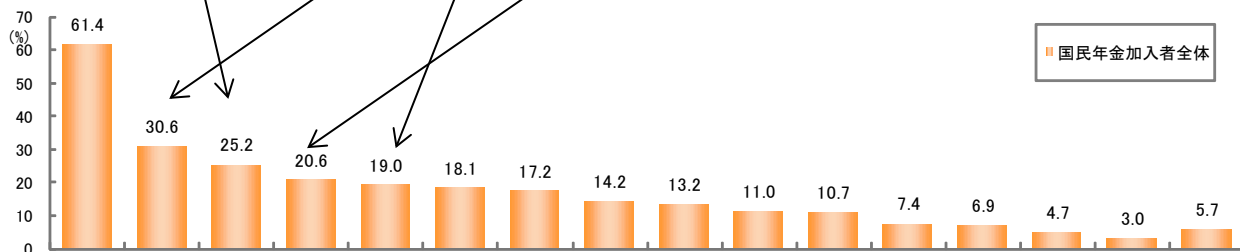
	(n)	滞納分もまとめて支払ったから	督促や延滞の通知を受け取ったから	自分の状況が変わったから	支払いを忘れていたから	収入が増えたから	親や家族が支払ってくれたから	滞納分をさかのぼって支払ったから	免除や申請手続きをしたから	年齢を重ねるようになったから	自分や家族が厚生年金の加入対象になったから	結婚や出産で家族が増えたから	家族の状況が変わったから	生活費や趣味などの出費が減ったから	周囲の人の意見を聞いたから	死別や離婚などで家族がなくなったから	住宅・金融ローンなどの返済の負担が減ったから	子どもが成長するのを感じたから	その他		
国民年金加入者全体	(228)	33.8	26.3	24.1	23.2	19.7	17.1	17.1	14.5	5.7	4.4	3.1	2.6	2.6	2.2	0.9	0.4	0.4	4.4		
納付状況	完納者	(64)	35.9	20.3	17.2	26.6	17.2	20.3	15.6	7.8	6.3	9.4	1.6	4.7	4.7	-	-	-	-	3.1	
	短期滞納(6ヶ月未満)	(32)	46.9	40.6	31.3	40.6	21.9	15.6	18.8	9.4	6.3	-	6.3	-	3.1	-	-	-	-	3.1	
	中長期滞納(7~24ヶ月)	(38)	23.7	18.4	26.3	10.5	26.3	13.2	15.8	7.9	2.6	2.6	-	7.9	2.6	-	2.6	-	-	5.3	
	免除・若者猶予・学生特例	(94)	31.9	28.7	25.5	20.2	18.1	17.0	18.1	23.4	6.4	3.2	4.3	3.2	3.2	-	2.1	-	1.1	5.3	
性別	男性	(109)	37.6	30.3	25.7	22.9	20.2	15.6	16.5	11.0	4.6	4.6	2.8	1.8	4.6	3.7	-	0.9	0.9	3.7	
	女性	(119)	30.3	22.7	22.7	23.5	19.3	18.5	17.6	17.6	6.7	4.2	3.4	3.4	0.8	0.8	1.7	-	-	5.0	
年齢別	20~24歳	(49)	28.6	30.6	12.2	28.6	16.3	34.7	14.3	16.3	8.2	6.1	-	4.1	2.0	2.0	-	-	-	6.1	
	25~29歳	(48)	35.4	22.9	37.5	16.7	20.8	10.4	12.5	22.9	6.3	2.1	4.2	4.2	4.2	-	-	-	-	2.1	
	30~34歳	(63)	44.4	23.8	25.4	28.6	25.4	11.1	17.5	7.9	7.9	1.6	6.3	-	3.2	1.6	-	1.6	1.6	3.2	
	35~39歳	(68)	26.5	27.9	22.1	19.1	16.2	14.7	22.1	13.2	1.5	7.4	1.5	2.9	1.5	4.4	2.9	-	-	-	5.9
	20代	(97)	32.0	26.8	24.7	22.7	18.6	22.7	13.4	19.6	7.2	4.1	2.1	4.1	3.1	1.0	-	-	-	-	4.1
30代	(131)	35.1	26.0	23.7	23.7	20.6	13.0	19.8	10.7	4.6	4.6	3.8	1.5	2.3	3.1	1.5	0.8	0.8	-	4.6	
個人年収別	200万円未満	(145)	28.3	24.1	24.1	24.8	18.6	22.8	14.5	16.6	3.4	3.4	2.8	3.4	2.1	2.1	0.7	0.7	0.7	4.1	
	200万円以上	(81)	44.4	29.6	23.5	21.0	22.2	7.4	21.0	11.1	9.9	6.2	3.7	1.2	3.7	2.5	1.2	-	-	4.9	
世帯年収別	200万円未満	(46)	21.7	34.8	30.4	23.9	19.6	17.4	17.4	15.2	4.3	4.3	2.2	4.3	6.5	-	-	2.2	2.2	-	
	200~400万円未満	(84)	34.5	17.9	26.2	21.4	26.2	16.7	13.1	10.7	3.6	6.0	4.8	2.4	1.2	3.6	1.2	-	-	9.5	
	400~600万円未満	(49)	34.7	32.7	20.4	28.6	12.2	16.3	24.5	24.5	12.2	4.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	2.0	
	600~800万円未満	(* 24)	41.7	25.0	20.8	25.0	20.8	8.3	20.8	4.2	8.3	4.2	4.2	-	4.2	4.2	-	-	-	4.2	
	800万円以上	(* 20)	50.0	30.0	15.0	20.0	15.0	30.0	10.0	15.0	-	-	-	5.0	-	-	-	-	-	-	

【基数：滞納していた国民年金の保険料を支払った】

8. 国民年金保険料を支払っている理由(Q5)

保険料を払い続ける理由に義務意識や督促通知の経験が多く挙がるが、一方で老後への備えや障害年金なども理由の上位に来る。短期滞納者では、終身給付や「個人の力だけによる長期的な備えの困難さを克服する装置」としての側面も支払い理由として浮上している。公的年金制度に対し不安や不信を覚えつつも、今と将来の生活不安から制度に歩み寄ろうとする心理がうかがえる。

Q5. あなたが国民年金の保険料を支払ったのはどのような考えやお気持ちからでしょうか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

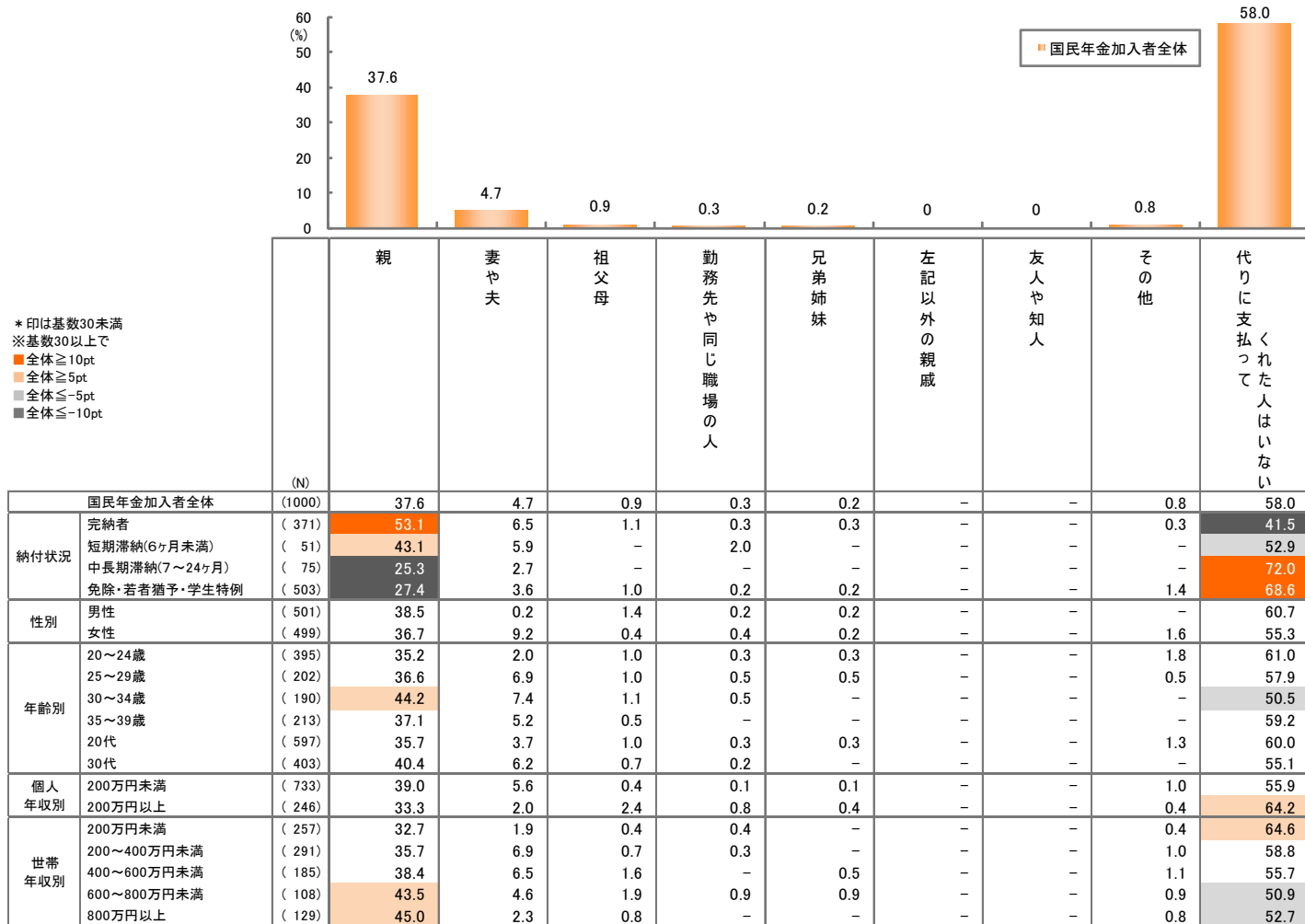
	(n)	国民年金加入者の義務だから	老後は公的暮らすと思うから	保険料を支払わなければならないから	自分がかつ病気に気が付いたから	若いうちから備えたいから	少額ながらも政府が保証してくれるから	公的年金は老後のために仕組まれているから	自分だけの力で生活できないから	みんなが支払っているから	老後を暮らしたくないから	長生きしても年金がもらえるから	万が一自分が死んだときに家族に備えたいから	支払う保険料の合計が多くなるから	その時々々の物価や生活水準が上がるから	民間の金融商品がより利回りが多いから	その他
国民年金加入者全体	(801)	61.4	30.6	25.2	20.6	19.0	18.1	17.2	14.2	13.2	11.0	10.7	7.4	6.9	4.7	3.0	5.7
納付状況																	
完納者	(371)	63.6	33.2	21.6	19.4	17.5	20.8	15.9	14.0	10.8	12.1	11.6	6.7	7.8	4.0	4.0	5.1
短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	54.9	35.3	29.4	25.5	29.4	13.7	21.6	11.8	21.6	21.6	25.5	9.8	5.9	3.9	-	-
免除・若者猶予・学生特例	(379)	60.2	27.4	28.2	21.1	19.0	16.1	17.9	14.8	14.5	8.4	7.9	7.7	6.1	5.5	2.4	7.1
性別																	
男性	(410)	56.6	27.6	22.0	22.9	19.0	17.1	16.6	13.2	11.7	10.5	10.5	8.8	9.0	6.8	3.4	6.3
女性	(391)	66.5	33.8	28.6	18.2	18.9	19.2	17.9	15.3	14.8	11.5	11.0	5.9	4.6	2.6	2.6	5.1
年齢別																	
20~24歳	(330)	68.2	28.2	21.5	22.1	18.8	16.7	16.7	16.4	18.5	10.0	9.4	7.9	5.8	5.8	2.1	5.2
25~29歳	(161)	57.1	31.1	32.9	17.4	16.8	19.3	17.4	18.6	11.8	10.6	6.8	6.2	5.6	3.1	0.6	6.2
30~34歳	(149)	56.4	30.2	31.5	24.2	19.5	20.8	17.4	4.7	7.4	12.1	13.4	10.1	9.4	5.4	4.0	3.4
35~39歳	(161)	56.5	35.4	19.3	17.4	21.1	17.4	18.0	14.3	9.3	12.4	14.9	5.0	8.1	3.7	6.2	8.7
20代	(491)	64.6	29.1	25.3	20.6	18.1	17.5	16.9	17.1	16.3	10.2	8.6	7.3	5.7	4.9	1.6	5.5
30代	(310)	56.5	32.9	25.2	20.6	20.3	19.0	17.7	9.7	8.4	12.3	14.2	7.4	8.7	4.5	5.2	6.1
個人年取別																	
200万円未満	(581)	62.5	29.8	26.2	19.1	19.3	18.1	16.0	14.5	13.3	9.8	10.8	6.4	6.0	4.5	2.8	6.5
200万円以上	(205)	59.5	33.7	22.9	25.4	18.5	18.5	20.5	13.7	13.2	14.1	10.7	10.2	9.3	5.4	3.9	3.9
世帯年取別																	
200万円未満	(204)	59.8	24.0	25.0	19.1	18.1	18.6	17.2	15.7	12.3	6.9	11.8	4.9	5.4	2.5	3.4	5.9
200~400万円未満	(220)	55.9	32.3	27.7	25.0	18.2	20.0	14.1	13.6	12.7	13.2	10.5	10.9	9.1	6.8	3.2	7.7
400~600万円未満	(155)	67.7	40.0	22.6	15.5	22.6	17.4	20.0	12.9	10.3	8.4	12.3	5.8	5.2	3.2	1.3	7.7
600~800万円未満	(92)	66.3	32.6	21.7	17.4	22.8	14.1	20.0	10.9	15.2	18.5	8.7	7.6	6.5	1.1	4.3	2.2
800万円以上	(110)	64.5	25.5	28.2	24.5	13.6	18.2	22.7	17.3	18.2	10.9	10.0	6.4	8.2	10.0	2.7	2.7

【基数：過去18ヶ月以上納付者】

9. 国民年金保険料を代わりに支払ってくれた人(Q4)

全体の4割弱が国民年金保険料を親に払ってもらった経験をもつ。その比率は滞納期間の長短で格差がみられた。親の支払い能力や意識の高さが、長期滞納をくい止める大きな要因になっていることが示唆されている。また、他の設問でも、親が支払い再開や猶予・免除制度の申請を奨めたりと、親による情報支援の跡がうかがえる結果となっている。

Q4. 今までに、あなたの国民年金の保険料を代わりに支払ってくれた方がいましたか。(複数回答)

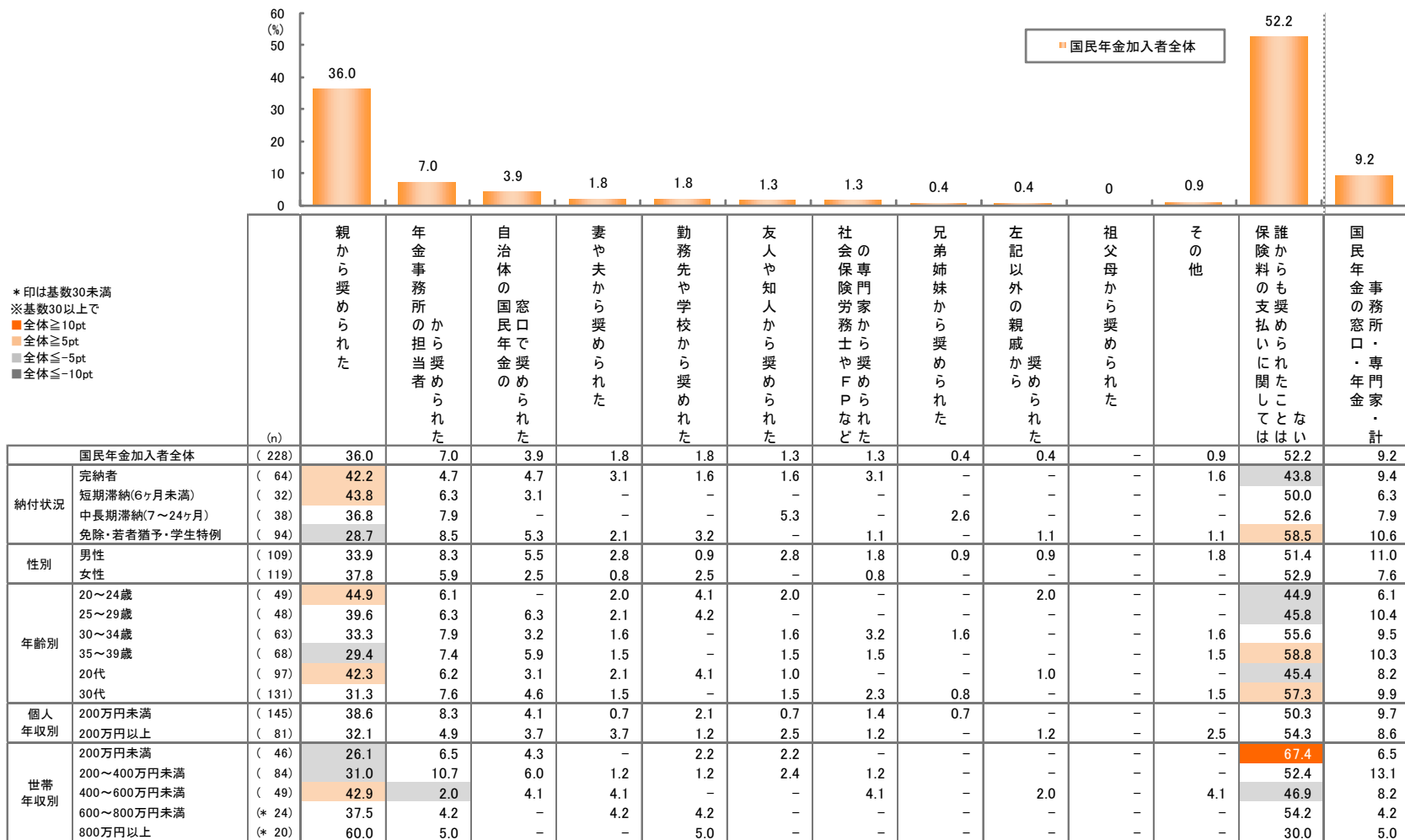


【基数: 国民年金加入者】

2) 国民年金保険料の支払いを奨めてくれた人(Q10)

- 国民年金保険料の支払いを奨めてくれた人では、「親」(36%)が圧倒的に多い。
- 完納者・短期滞納者、20代前半で「親から奨められた」人が4割強と多くなっている。

Q10. あなたの周囲に国民年金の保険料を支払うように奨めてくれた人がいましたか。(複数回答)



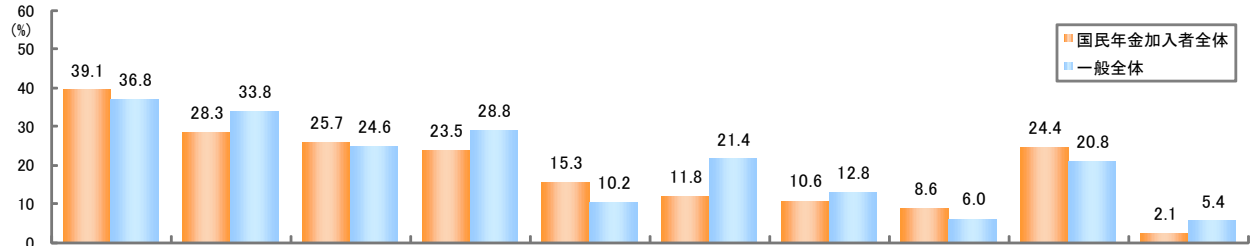
【基数：滞納していた国民年金の保険料を支払った】

3) 親の年金に対する意識(Q43)

■ 両親の年金に対する意識では、国民年金加入者・一般ともに「公的年金制度の加入や保険料の支払いは社会人の義務だ」「公的年金制度の保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい」が高い。また、一般では親の年齢が上がるため、「公的な年金を受け取れるお陰で生活が助かっている」という意識が国民年金加入者に比べて高い。

- 完納者で「保険料の支払いは社会人の義務だ」「保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい」という意識が強い。
- 世帯年収600～800万円未満では「公的年金制度に入っても老後に十分な額の年金を受け取れない」というネガティブ意識が強い。

Q43. あなたのご両親は、公的年金制度についてどのような考えをお持ちだと思いますか。ご両親の考えに近いと思うものをお知らせ下さい。（複数回答）



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	公的年金制度の加入や保険料の支払いは社会人の義務だ	公的年金制度の保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい	公的年金制度に入っても老後に十分な額の年金を受け取れない	公的年金制度の加入や保険料の支払いは社会人の義務だ	公的年金制度の保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい	公的年金制度に入っても老後に十分な額の年金を受け取れない	公的年金制度の加入や保険料の支払いは社会人の義務だ	公的年金制度の保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい	公的年金制度に入っても老後に十分な額の年金を受け取れない	公的年金制度の加入や保険料の支払いは社会人の義務だ	公的年金制度の保険料は無理をしてでも支払っておいた方がよい	公的年金制度に入っても老後に十分な額の年金を受け取れない
国民年金加入者全体	(1000)	39.1	28.3	25.7	23.5	15.3	11.8	10.6	8.6	24.4	2.1		
納付状況	完納者	(371)	46.6	35.3	24.5	25.9	11.3	12.9	12.4	5.1	21.0	1.6	
	短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	35.3	31.4	29.4	27.5	9.8	7.8	13.7	7.8	23.5	5.9	
	中長期滞納(7～24ヶ月)	(75)	14.7	17.3	25.3	14.7	14.7	6.7	5.3	17.3	36.0	6.7	
	免除・若者猶予・学生特例	(503)	37.6	24.5	26.2	22.7	18.9	12.1	9.7	9.9	25.2	1.4	
性別	男性	(501)	34.1	29.3	23.2	25.1	16.4	13.6	11.6	8.4	27.1	3.0	
	女性	(499)	44.1	27.3	28.3	21.8	14.2	10.0	9.6	8.8	21.6	1.2	
年齢別	20～24歳	(395)	45.3	27.6	24.6	23.3	17.7	9.4	10.4	10.6	22.0	2.0	
	25～29歳	(202)	38.6	30.7	27.2	26.2	16.8	7.9	12.9	8.9	26.7	1.5	
	30～34歳	(190)	32.1	28.4	28.4	22.6	15.8	14.2	11.1	7.4	22.1	2.1	
	35～39歳	(213)	34.3	27.2	23.9	22.1	8.9	17.8	8.5	5.6	28.6	2.8	
	20代	(597)	43.0	28.6	25.5	24.3	17.4	8.9	11.2	10.1	23.6	1.8	
30代	(403)	33.3	27.8	26.1	22.3	12.2	16.1	9.7	6.5	25.6	2.5		
個人年収別	200万円未満	(733)	40.0	27.7	25.8	23.5	15.6	11.5	10.8	8.2	24.1	2.0	
	200万円以上	(246)	38.6	30.9	26.4	24.4	15.9	13.4	10.6	10.6	22.0	1.6	
世帯年収別	200万円未満	(257)	36.2	26.5	23.7	22.6	14.4	10.9	10.1	8.6	29.2	1.9	
	200～400万円未満	(291)	37.1	26.5	26.1	23.0	15.1	12.7	11.3	10.0	27.8	2.1	
	400～600万円未満	(185)	40.0	28.6	28.1	24.3	20.0	14.1	13.0	9.7	19.5	0.5	
	600～800万円未満	(108)	43.5	33.3	36.1	25.0	17.6	13.0	8.3	9.3	14.8	1.9	
	800万円以上	(129)	49.6	34.9	20.2	27.1	12.4	9.3	9.3	5.4	13.2	3.1	
一般全体	(500)	36.8	33.8	24.6	28.8	10.2	21.4	12.8	6.0	20.8	5.4		

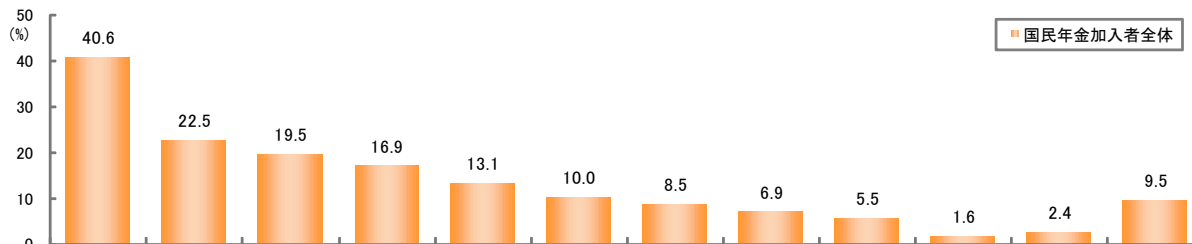
【基数：対象者全員】

4) 免除・猶予制度の利用のきっかけ(Q18)

■ 免除・猶予制度を利用したきっかけでは、「家族や親類から教えられた」が4割でトップ。以下、「市区町村や年金事務所などの担当者から教えられた」「市区町村や年金事務所など公的機関のパンフレットやポスターで知った」が2割前後で続く。

- 完納者では「家族や親類から教えられた」人が半数以上と多く、「市区町村や年金事務所などの担当者から」教えられた人は1割強にとどまる。
- 30代は20代に比べて、「市区町村や年金事務所などの担当者から」を挙げる割合が高く、約20ポイントの差が開く。
- 世帯年収800万円以上では、「学校や職場で教えられた」「年金に関する書籍で知った」などが高く、きっかけは多岐にわたる。

Q18. 若者や学生、所得の少ない人のための免除・猶予制度を利用したことのある方にお尋ねします。あなたはそれらの免除・猶予制度についてどのようにお知りになりましたか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(n)	家族や親類から教えられた	市区町村や年金事務所などの担当者から	市区町村や年金事務所など公的機関のパンフレットやポスターで知った	インターネットのサイトや動画などで知った	インターネットの携帯で知った	学校や職場で知った	友人、知人から知った	年金に関する書籍で知った	テレビや新聞、雑誌などで知った	社会保険庁から知らされた	その他	わからない
国民年金加入者全体	(579)	40.6	22.5	19.5	16.9	13.1	10.0	8.5	6.9	5.5	1.6	2.4	9.5
納付状況	完納者 (98)	55.1	12.2	11.2	17.3	8.2	6.1	7.1	4.1	6.1	3.1	1.0	14.3
	短期滞納(6ヶ月未満) (* 24)	45.8	20.8	12.5	16.7	12.5	4.2	-	4.2	4.2	-	-	12.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (33)	33.3	27.3	21.2	18.2	12.1	3.0	6.1	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0
	免除・若者猶予・学生特例 (424)	37.5	24.5	21.7	16.7	14.4	11.8	9.4	7.5	5.7	1.2	2.8	8.7
性別	男性 (283)	34.3	18.7	23.0	22.6	19.1	8.1	8.1	10.2	7.8	2.5	2.8	9.5
	女性 (296)	46.6	26.0	16.2	11.5	7.4	11.8	8.8	3.7	3.4	0.7	2.0	9.5
年齢別	20~24歳 (264)	47.3	13.6	22.7	18.2	14.4	16.7	12.9	9.1	6.1	0.8	1.5	6.4
	25~29歳 (121)	40.5	20.7	18.2	14.9	13.2	9.1	2.5	4.1	4.1	1.7	1.7	14.9
	30~34歳 (101)	35.6	32.7	13.9	16.8	10.9	2.0	3.0	5.0	2.0	3.0	5.0	10.9
	35~39歳 (93)	26.9	38.7	18.3	16.1	11.8	1.1	9.7	6.5	9.7	2.2	3.2	9.7
個人年収別	200万円未満 (457)	43.1	21.2	19.7	16.6	11.2	11.2	7.9	5.7	5.9	0.7	2.6	8.8
	200万円以上 (117)	30.8	27.4	19.7	17.9	20.5	6.0	11.1	12.0	4.3	5.1	1.7	12.0
世帯年収別	200万円未満 (170)	41.8	21.8	15.3	15.3	10.0	9.4	8.2	5.9	5.3	-	2.4	8.2
	200~400万円未満 (168)	33.3	27.4	24.4	19.0	13.1	7.7	7.7	6.5	5.4	1.2	3.0	13.7
	400~600万円未満 (102)	43.1	20.6	22.5	16.7	20.6	7.8	9.8	7.8	6.9	5.9	2.9	6.9
	600~800万円未満 (56)	44.6	21.4	23.2	10.7	8.9	8.9	10.7	3.6	1.8	-	1.8	10.7
	800万円以上 (74)	44.6	17.6	12.2	20.3	13.5	21.6	8.1	12.2	8.1	1.4	1.4	5.4

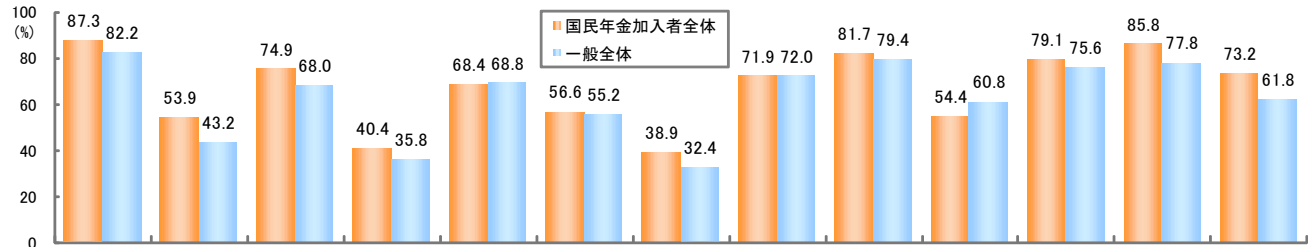
【基数: 免除・猶予利用経験者】

10. 国民年金保険料の支払いサービスや免除・猶予制度の認知状況(Q15)

完納者は、支払いの利便性を高めるサービスや前納、後納、税金控除などのしくみをよく知っている。その認知が実際にサービスの利用につながるであろうし、制度への信頼にもつながるであろう。

これらのサービスやしくみの認知は、20代前半や世帯年収が200万円以下の世帯など、セグメントによってはばらつきがあるため、特定層への認知向上施策が求められる。

Q15. 国民年金制度の以下のサービスやしくみについて、あなたは見聞きされたことがありますか。(単一回答)



*印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■全体≥10pt
 ■全体≥5pt
 ■全体≤-5pt
 ■全体≤-10pt

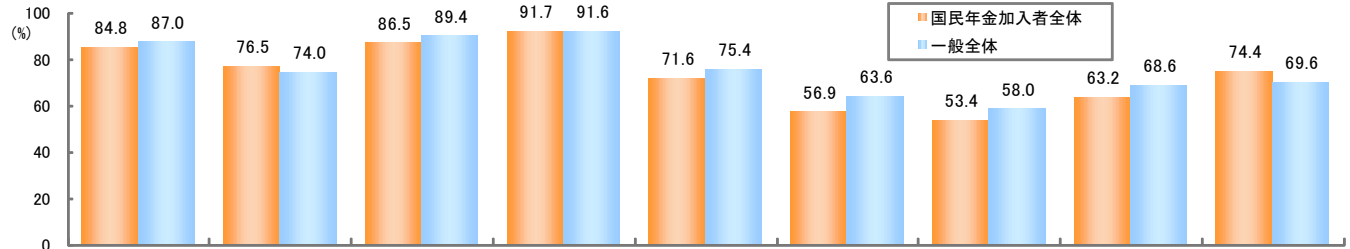
	(N)	保険自動引き落としサービス	保険料を口座振替にできる	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない	保険料を支払うことができない
国民年金加入者全体	(1000)	87.3	53.9	74.9	40.4	68.4	56.6	38.9	71.9	81.7	54.4	79.1	85.8	73.2
完納者	(371)	89.8	59.3	76.5	44.7	75.5	62.5	48.8	72.2	81.9	60.6	74.7	80.9	66.8
納付状況														
短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	90.2	52.9	84.3	29.4	70.6	49.0	45.1	72.5	92.2	60.8	84.3	88.2	72.5
中长期滞納(7~24ヶ月)	(75)	86.7	49.3	84.0	38.7	62.7	48.0	34.7	65.3	81.3	46.7	74.7	73.3	64.0
免除・若者猶予・学生特例	(503)	85.3	50.7	71.4	38.6	63.8	54.3	31.6	72.6	80.5	50.3	82.5	91.1	79.3
性別														
男性	(501)	84.8	56.3	73.9	46.9	70.3	61.3	45.7	74.1	82.8	60.1	78.6	83.0	73.3
女性	(499)	89.8	51.5	76.0	33.9	66.5	51.9	32.1	69.7	80.6	48.7	79.6	88.6	73.1
年齢別														
20~24歳	(395)	80.8	51.1	65.8	36.2	55.2	47.6	33.4	64.8	73.4	42.5	71.9	87.8	73.4
25~29歳	(202)	88.1	57.4	77.7	44.1	72.8	61.4	40.6	75.2	85.1	53.5	83.2	89.1	76.7
30~34歳	(190)	91.1	53.7	83.7	42.1	77.9	63.2	45.3	80.0	88.9	62.6	83.2	85.8	75.8
35~39歳	(213)	95.3	55.9	81.2	43.2	80.3	62.9	41.8	74.6	87.3	70.0	85.0	78.9	67.1
20代	(597)	83.2	53.3	69.8	38.9	61.1	52.3	35.8	68.3	77.4	46.2	75.7	88.3	74.5
30代	(403)	93.3	54.8	82.4	42.7	79.2	63.0	43.4	77.2	88.1	66.5	84.1	82.1	71.2
個人年収別														
200万円未満	(733)	86.9	51.2	73.0	37.1	66.7	55.0	35.5	70.5	80.5	49.4	79.0	87.0	74.4
200万円以上	(246)	89.0	63.0	81.3	51.6	74.4	63.0	49.6	76.4	85.8	69.5	80.5	83.7	72.0
世帯年収別														
200万円未満	(257)	86.0	46.3	70.4	35.0	60.3	51.8	28.8	69.3	79.8	46.3	74.7	85.6	72.8
200~400万円未満	(291)	92.8	60.1	85.6	45.0	75.9	62.9	45.0	75.3	85.6	59.1	86.9	90.0	79.4
400~600万円未満	(185)	87.6	57.8	72.4	41.6	72.4	61.6	43.2	68.6	81.6	57.3	77.8	83.8	70.8
600~800万円未満	(108)	81.5	51.9	69.4	40.7	70.4	56.5	39.8	72.2	80.6	58.3	74.1	85.2	71.3
800万円以上	(129)	82.9	53.5	69.0	41.9	62.8	49.6	39.5	75.2	79.8	54.3	77.5	83.7	69.8
一般全体	(500)	82.2	43.2	68.0	35.8	68.8	55.2	32.4	72.0	79.4	60.8	75.6	77.8	61.8

【基数：対象者全員】 理解計(知っている+見聞きしたような気がする)

11. 公的年金制度の基本的なしくみの認知状況(Q19)

公的年金制度の基本的なしくみについては、中長期滞納者や20代前半、女性で認知が十分に広がっていない項目が複数みられた。とりわけ、中長期滞納者ではその認知が限られ、不確かな制度認知が滞納の長期化に影響を与えている可能性が示唆された。

Q19. 国民年金制度の以下のことに関して、あなたはどの程度ご存じでしたか。(単一回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

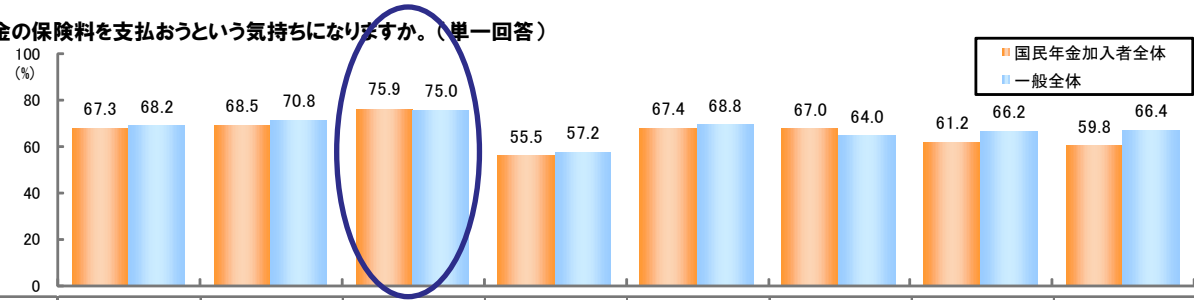
	(N)	国民年金加入者全体 (%)	国民年金受給に支払いは25歳以上必要	免除や猶予の期間はみなされる	国民年金は世代間扶養である	短いと見られる期間が少なくなる	国民年金は国が税金の負担をする	納付期間が70歳まで任意加入可能な場合、65歳まで任意加入可能な場合、60歳未満の場合	支払い免除・猶予制度がある	物価スライド制	支払い免除・猶予制度がある
国民年金加入者全体	(1000)	84.8	76.5	86.5	91.7	71.6	56.9	53.4	63.2	74.4	
納付状況	完納者 (371)	85.2	73.9	89.5	92.7	69.8	56.1	50.1	66.0	74.1	
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	86.3	74.5	82.4	92.2	74.5	52.9	49.0	64.7	76.5	
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	81.3	77.3	77.3	85.3	54.7	49.3	53.3	52.0	61.3	
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	84.9	78.5	86.1	91.8	75.1	59.0	56.3	62.6	76.3	
性別	男性 (501)	86.6	79.2	86.0	90.6	75.0	62.1	60.1	68.3	76.8	
	女性 (499)	83.0	73.7	87.0	92.8	68.1	51.7	46.7	58.1	71.9	
年齢別	20~24歳 (395)	78.2	69.9	82.8	87.6	69.4	51.9	49.9	59.0	69.4	
	25~29歳 (202)	87.6	77.2	88.1	93.6	70.3	59.9	55.9	59.9	75.7	
	30~34歳 (190)	90.0	83.7	88.4	95.8	76.3	60.5	54.7	67.4	75.3	
	35~39歳 (213)	89.7	81.7	90.1	93.9	72.8	60.1	56.3	70.4	81.7	
	20代 (597)	81.4	72.4	84.6	89.6	69.7	54.6	51.9	59.3	71.5	
30代 (403)	89.8	82.6	89.3	94.8	74.4	60.3	55.6	69.0	78.7		
個人年収別	200万円未満 (733)	83.8	74.8	86.5	91.7	71.5	55.9	52.8	61.7	74.2	
	200万円以上 (246)	89.0	82.9	87.4	93.5	73.2	60.2	54.9	68.3	76.4	
世帯年収別	200万円未満 (257)	83.3	72.4	82.1	90.3	68.9	53.3	48.6	58.0	71.6	
	200~400万円未満 (291)	84.9	78.4	90.0	94.2	75.3	58.1	54.0	65.3	78.0	
	400~600万円未満 (185)	87.6	77.3	87.6	94.1	70.8	57.3	53.0	66.5	75.1	
	600~800万円未満 (108)	87.0	80.6	87.0	91.7	75.9	61.1	58.3	59.3	69.4	
	800万円以上 (129)	85.3	79.8	88.4	90.7	71.3	59.7	57.4	71.3	80.6	
一般全体	(500)	87.0	74.0	89.4	91.6	75.4	63.6	58.0	68.6	69.6	

【基数: 対象者全員】 理解計(知っている+見聞きしたような気がする)

12. 公的年金制度のルールやメリットに関するメッセージの評価(Q23)

年金にまつわるルールや加入者のメリットに関するメッセージが伝わることで、支払いの意欲が高まる可能性が示唆された。とりわけ、遺族年金・障害年金のしくみは、支払い意欲を高める効果が期待できる。ただし、中長期滞納者ともなると、メッセージの伝達による支払い意欲への効果は限定的であることがうかがえる。

Q23. 文章をお読みになってあなたはどの程度、年金の保険料を支払おうという気持ちになりますか。(単一回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

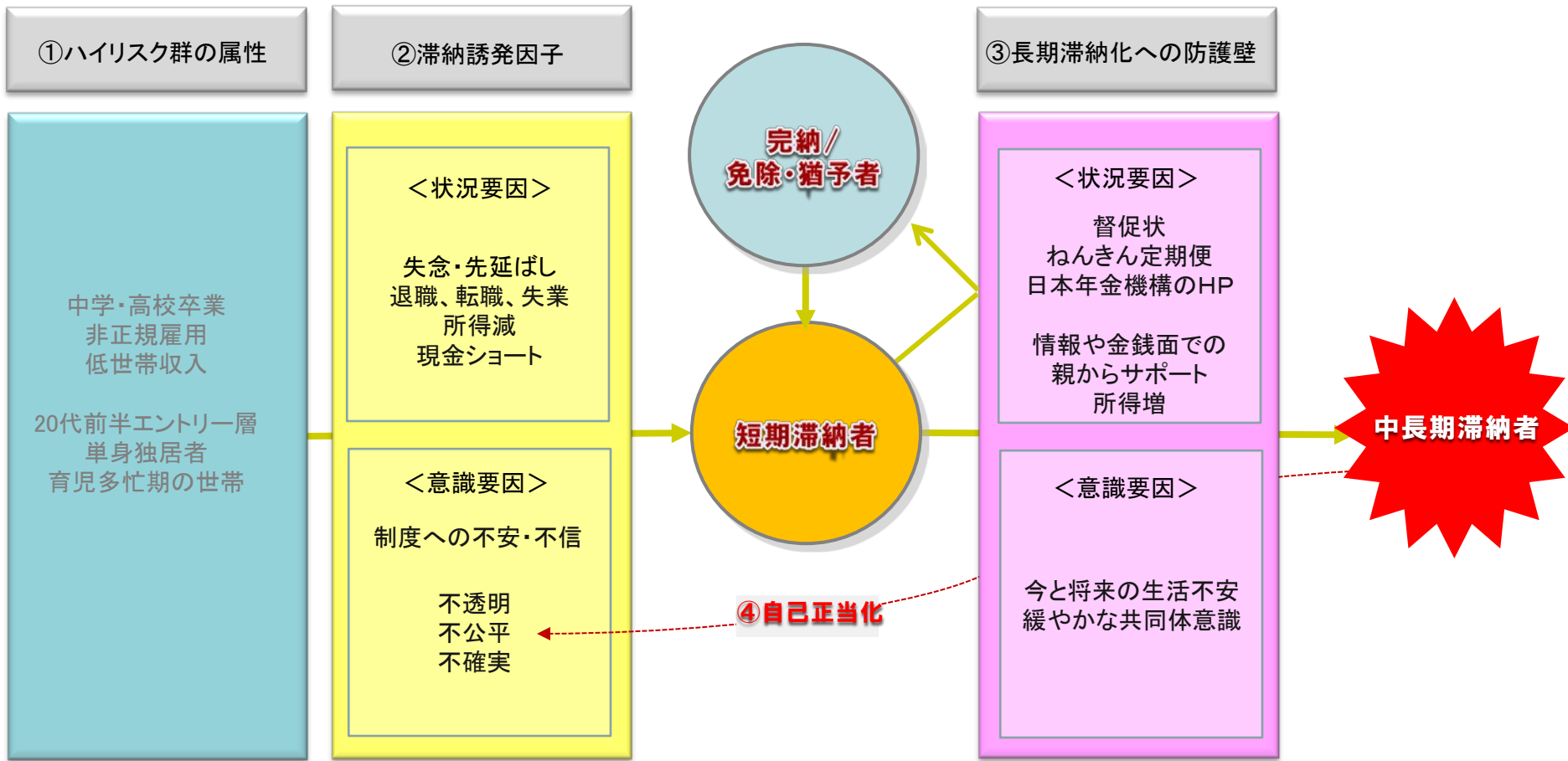
	(N)	20歳以上60歳未満の加入義務がある	世代間や社会全体で助け合う仕組み	自分や家族の生活も病気や障害の心配	保険料を1人におよぎない	養い、安定した生活にできる	強制徴収の手段がとられる	物価や生活水準に合わせた年金	国に対して備える社会的な仕組み	
国民年金加入者全体	(1000)	67.3	68.5	75.9	55.5	67.4	67.0	61.2	59.8	
納付状況	完納者	(371)	77.1	73.6	81.4	61.7	74.1	74.7	68.2	67.9
	短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	66.7	72.5	78.4	54.9	70.6	70.6	66.7	60.8
	中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	41.3	48.0	54.7	34.7	48.0	50.7	34.7	37.3
	免除・若者猶予・学生特例	(503)	64.0	67.4	74.8	54.1	65.0	63.4	59.4	57.1
性別	男性	(501)	64.3	69.1	75.0	55.1	65.7	63.5	60.1	60.3
	女性	(499)	70.3	67.9	76.8	55.9	69.1	70.5	62.3	59.3
年齢別	20~24歳	(395)	71.1	70.1	75.9	61.0	68.9	67.6	66.6	63.5
	25~29歳	(202)	63.4	67.8	76.7	52.0	65.8	68.8	58.9	57.4
	30~34歳	(190)	65.3	66.3	75.3	48.4	65.3	66.8	56.8	52.6
	35~39歳	(213)	65.7	68.1	75.6	54.9	68.1	64.3	57.3	61.5
	20代	(597)	68.5	69.3	76.2	58.0	67.8	68.0	64.0	61.5
個人年取別	200万円未満	(733)	67.3	68.2	76.9	55.3	67.8	68.2	61.4	59.5
	200万円以上	(246)	69.1	70.7	74.4	56.9	67.5	64.6	62.6	61.8
世帯年取別	200万円未満	(257)	61.1	62.3	70.0	49.0	64.6	61.1	58.4	56.8
	200~400万円未満	(291)	63.9	67.7	75.3	52.6	65.3	67.0	57.0	57.4
	400~600万円未満	(185)	71.4	73.0	78.9	59.5	69.7	68.6	63.2	64.3
	600~800万円未満	(108)	74.1	70.4	77.8	58.3	69.4	71.3	70.4	57.4
	800万円以上	(129)	79.8	77.5	86.0	68.2	76.7	75.2	69.8	69.0
一般全体	(500)	68.2	70.8	75.0	57.2	68.8	64.0	66.2	66.4	

【基数：対象者全員】 意欲あり計(支払おうという気持ちになる+やや支払おうという気持ちになる)

13. 国民年金保険料の滞納長期化モデル

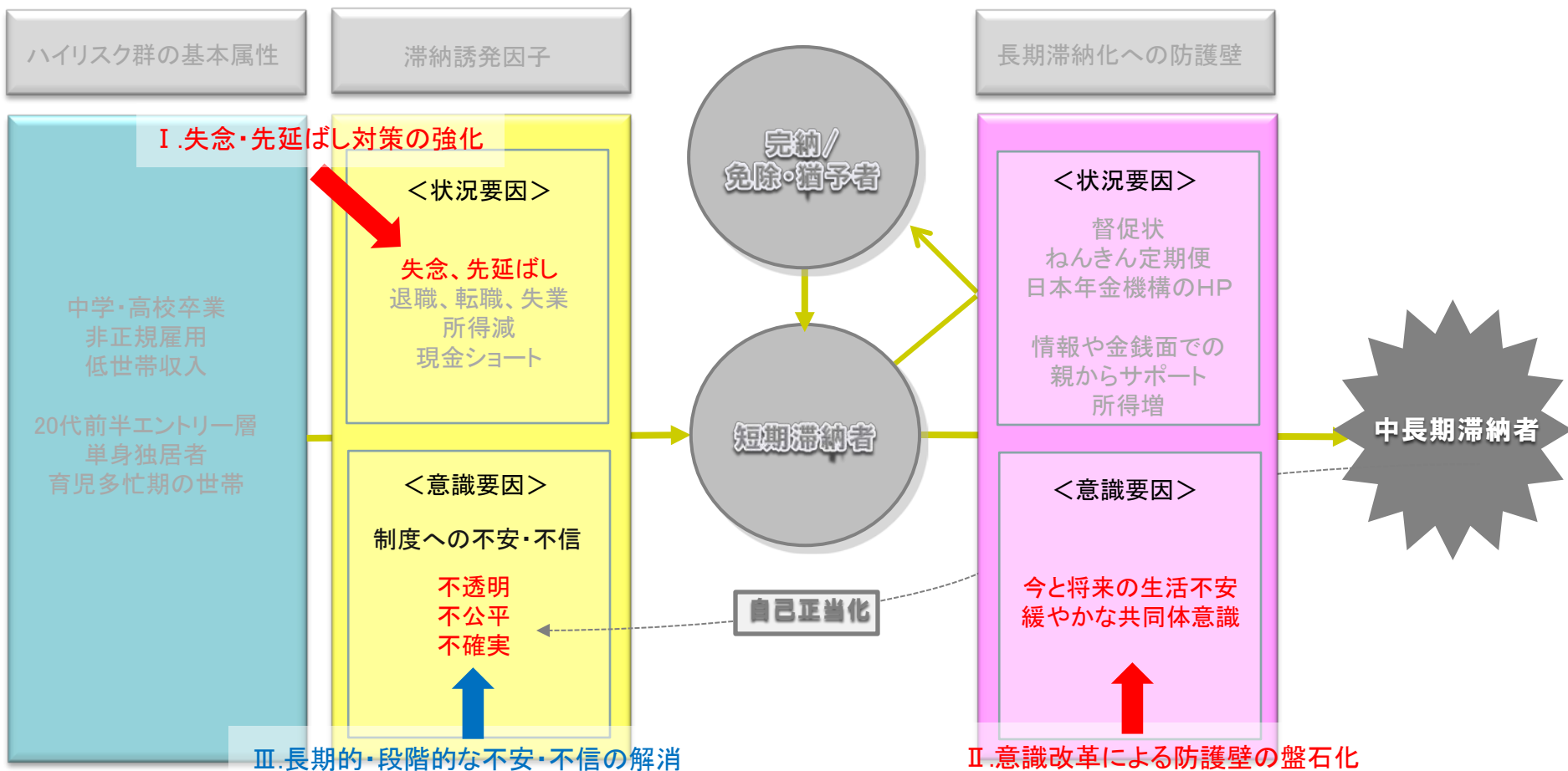
どのような過程を経て滞納が誘発され、長期滞納化するのかのモデル化を試みた。①～④のステップが考えられる。

- ① 滞納化しやすいハイリスク群は存在するものの、その基本属性が滞納の原因とはならない。同じ属性にあっても完納者は大勢いる。
- ② しかし、ハイリスク群に状況や意識の双方から誘発因子の影響が加わり、一時的に短期滞納の状態に陥る。最初のほころびといえる。
- ③ 本来は状況・意識の防護壁が機能することで支払いが再開されるが、そこをすり抜け中長期滞納者が誕生することになる。
- ④ さらに中長期滞納者は自己の滞納行動を正当化するために、制度への不安・不信をますます強め、滞納期間が長引くこととなる。



14. 公的年金制度に関する情報発信の方向性

- I. 滞納のきっかけになり得る失念や先延ばし対策を強化し、滞納化のきっかけとなる芽を摘むことがまず重要。
- II. さらに年金が個人の今と将来の生活不安にダイレクトに応え得る制度であること、社会全体の連帯に基づく制度であることを周知させ、長期滞納へのなし崩し的な移行を阻む意識を醸成する必要がある。
- III. 滞納行動は、蔓延する制度不安・不信と結びつくと長引く傾向にあるため、制度イメージの浄化策も大きな課題となる。



III. 長期的・段階的な不安・不信の解消

II. 意識改革による防護壁の盤石化

15. 公的年金制度に対する不安・不信の解消に向けて

今の時点では、公的年金制度に関する正しい知識の普及のみでは制度に対する安心感や信頼感を回復する決め手にはなり得ないようである。世代間扶養や1/2の税負担、物価スライドなどのしくみを正しく認知していた人の方がむしろ公的年金制度へ厳しい目を向けている。

たとえば、1/2の税負担の事実の認知は、保険料では賄いきれない年金財政への不安や「国民の税金が有効に使われるのか?」「不祥事が起こるのではないか?」といった疑念につながる可能性がある。政府の言動が斜めに捉えられる傾向が広がっているといえる。

Q.公的年金制度が将来的に破綻するとしたらどのような理由からだと思えますか。

[比率の差]		支える側である働く世代に対し、支えられる側のお年寄りの数が増えるため	経済的な理由から年金保険料を支払わない人が増えるため	長生きする人が増え、年金を払い続けることができなくなるため	もらえる年金の額が減り続け、お年寄りが生活を支えられなくなるため	国民から集めた保険料やその積立金が無駄使いされるため	経済の低迷で賃金が上がらず、国民から十分な年金保険料が集められないため	国の財政が悪化しているため	年金の記録問題など政府の不祥事が相次いだため	集めた保険料の運用がうまくいかないことがあるため
全体	+10ポイント	82.5	59.0	52.7	49.5	47.3	47.2	46.1	37.6	35.7
働く世代が支払う保険料によって、現在のお寄りの年金給付をまかなう仕組み(世代間扶養)である。	知っている	89.1	65.2	56.6	51.1	52.2	52.2	50.2	41.2	41.7
	全く知らなかった	65.2	43.0	43.7	43.7	31.1	32.6	36.3	26.7	21.5
国民年金では、年金額の1/2を国が税金で負担している。	知っている	86.1	62.4	59.2	51.0	56.7	51.5	47.5	42.8	40.0
	全く知らなかった	79.6	55.6	47.9	48.9	39.8	41.5	44.0	32.0	30.3
物価などその時々々の生活水準に応じて年金額が決められる物価スライド方式がとられている。	知っている	87.1	63.0	59.9	47.6	54.5	52.4	47.0	41.7	41.4
	全く知らなかった	80.2	57.9	48.1	53.0	43.2	45.1	43.2	34.2	32.9

<表の見方と解釈>

公的年金制度に関する各事実について、「知っていた」と答えた人と「全く知らなかった」と答えた人に分類。さらにそれぞれ人たちが、公的年金制度が破綻すると考える理由についてどのように回答しているかを見ている。

たとえば、公的年金制度が「世代間扶養のしくみである」と知っている人は、知らない人に比べ、世代間人口のアンバランス、滞納者の増大、経済低迷のため賃金が上がらず十分な公的年金の保険料が集められないことなどを破綻理由として多く挙げている。世代間扶養という認識が、自分たちの世代が老後を迎えたときの財源に対する強い不安につながっていることがうかがえる。

さらに、「年金額の1/2が税金で負担されている」ことを知っている人は、知らない人に比べ、「長寿化とともに年金給付が続けられなくなる」「十分な保険料が集まらない」ことを破綻理由に多く挙げている。おそらく「税金が投入されるほど年金財政がひっ迫している」という連想が働くためであろう。さらに税金となると、不祥事に関する過去の記憶と相俟って、税金の使途や運用など政府の意図や能力に対する疑念がふくらんでしまうようである。

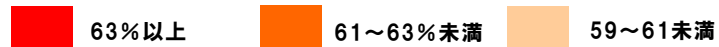
16. 公的年金制度に対する不安・不信の解消に向けて

公的年金制度が破綻すると考える理由として、どんな事柄同士が調査票上で同時に選ばれやすいのか、その併答率を見た。「滞納者の増大」や「財源の無駄遣い」は多くの事柄と同時に選ばれやすく、たとえば「滞納者の増大」は、「賃金が上がらず十分な保険料が集められない」「社会の長寿化で年金給付が続けられなくなる」「給付額が減り続け生活が支えられなくなる」といった事柄と同時に選ばれている。

こうした公的年金制度が破綻すると考える理由の連鎖性は一方で、発信すべき啓発情報に示唆的といえる。生態学では、数は少なくとも、その種がいなくなることで生態系が大きく変化する種をキーストーン種という。「滞納者の増大」「財源の無駄遣い」は、さながらキーストーン種のように、他の事柄への波及効果が高いことがわかる。それらを徹底的に正すことで、公的年金制度全体の信頼回復につながる可能性がうかがえる。

Q.公的な年金制度が将来的に破綻するとしたらどのような理由からだと思いますか。

Q.公的な年金制度が将来的に破綻するとしたらどのような理由からだと思いますか。	横%	支える側である働く世代に対し、支えられる側のお年寄りの数が増えるため	経済的な理由から年金保険料を支払わない人が増えるため	長生きする人が増え、年金を払い続けることができなくなるため	もらえる年金額が減り続け、お年寄りが生活を支えられなくなるため	国民から集めた保険料やその積立金が無駄に使われるため	経済の低迷で賃金が上がらず、国民から十分な年金保険料が集められないため	国の財政が悪化しているため	年金の記録問題など政府の不祥事が相次いだため	集めた保険料の運用がうまくいかないことがあるため
支える側である働く世代に対し、支えられる側のお年寄りの数が増えるため	825	100.0	64.5	58.9	55.6	50.7	52.4	50.4	40.7	39.5
経済的な理由から年金保険料を支払わない人が増えるため	590	90.2	100.0	61.4	59.3	59.5	63.9	57.5	47.5	45.4
長生きする人が増え、年金を払い続けることができなくなるため	527	92.2		100.0	57.9	55.2	56.7	54.5	44.8	46.5
もらえる年金額が減り続け、お年寄りが生活を支えられなくなるため	495	92.7			100.0	57.2	58.0	55.8	43.8	43.8
国民から集めた保険料やその積立金が無駄に使われるため	473	88.4				100.0	63.8	61.3	62.2	59.4
経済の低迷で賃金が上がらず国民から十分な年金保険料が集められないため	472	91.5					100.0	64.2	51.5	52.3
国の財政が悪化しているため	461	90.2						100.0	49.7	52.1
年金の記録問題など政府の不祥事が相次いだため	376	89.4							100.0	58.8
集めた保険料の運用がうまくいかないことがあるため	357	91.3								100.0

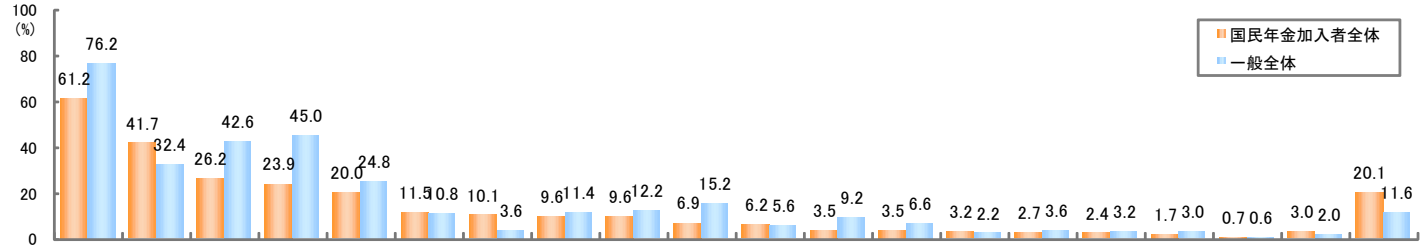


1)-1 年金に対する意識や行動に影響を与えたメディア情報源(Q13-1)

■ 公的年金制度に関する考えや行動に影響を与えたメディア情報源では、国民年金加入者・全体ともに「テレビのニュースや番組」が6割以上でトップに挙がる。以下、「家族との会話」「新聞記事」「ねんきん定期便、特別便」が上位を占める。「新聞記事」や「ねんきん定期便、特別便」といった活字メディアは国民年金加入者に比べて一般で影響を受けた人が多い。

- 30代は20代に比べて「ねんきん定期便、特別便」を挙げる割合が高く、3割を越える。
- 世帯年収400～600万円未満では「家族との会話」から影響を受けた人が半数弱と目立つ。

Q13-1. どのようなところからの情報が、あなたの公的年金制度に関する考えや行動に影響を与えたと思われますか。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	テレビのニュースや番組	家族との会話	新聞記事	ねんきん定期便、特別便	友人・知人との会話	日本年金機構から送られてくるダイレクトメール	日本年金機構からの催状・督促状	年金に関する書籍などの出版物	勤務先や学校からの情報	雑誌記事	年金制度に関するパンフレットや小冊子、ポスター	ラジオのニュース・番組	個人年金など資産形成に関する情報	交通広告や街頭・店頭	年金事務所の担当者	自治体などの年金担当者	社会保険労務士やファイナンシャルプランナーなどの専門家	市民を対象にしたセミナー、教室など	その他	影響を受けたものはない	
国民年金加入者全体	(1000)	61.2	41.7	26.2	23.9	20.0	11.5	10.1	9.6	9.6	6.9	6.2	3.5	3.5	3.2	2.7	2.4	1.7	0.7	3.0	20.1	
納付状況	完納者 (371)	59.8	46.1	26.1	27.5	18.1	11.1	5.1	8.1	7.8	7.0	4.3	4.0	4.0	2.7	1.3	1.3	1.1	0.5	3.5	17.3	
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	56.9	37.3	21.6	19.6	15.7	13.7	15.7	7.8	11.8	11.8	7.8	3.9	3.9	2.0	2.0	2.0	-	-	-	25.5	
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	49.3	25.3	16.0	18.7	21.3	8.0	21.3	8.0	5.3	5.3	2.7	1.3	5.3	1.3	2.7	1.3	2.7	-	-	-	33.3
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	64.4	41.4	28.2	22.5	21.7	12.1	11.5	11.1	11.3	6.6	8.0	3.4	2.8	4.0	3.8	3.4	2.2	1.0	3.4	19.7	
性別	男性 (501)	57.3	32.3	30.5	21.8	17.0	10.8	8.6	10.2	6.6	8.4	5.8	4.4	4.6	3.0	3.2	2.8	2.6	1.4	3.8	24.2	
	女性 (499)	65.1	51.1	21.8	26.1	23.0	12.2	11.6	9.0	12.6	5.4	6.6	2.6	2.4	3.4	2.2	2.0	0.8	-	2.2	16.0	
年齢別	20~24歳 (395)	61.8	47.3	28.1	13.9	21.0	11.1	10.9	11.4	13.7	6.3	9.1	3.3	2.5	6.1	1.8	1.8	1.5	1.3	2.5	18.5	
	25~29歳 (202)	63.4	44.6	27.7	23.3	22.3	6.9	7.4	8.4	11.9	6.9	5.4	3.0	4.0	1.5	3.0	3.0	1.5	1.0	2.5	20.3	
	30~34歳 (190)	63.7	38.9	24.2	38.4	17.9	16.8	11.1	9.5	4.7	7.4	5.8	4.2	5.3	1.6	3.2	2.6	2.1	-	4.2	18.4	
	35~39歳 (213)	55.9	31.0	23.0	30.0	17.8	11.7	10.3	7.5	4.2	7.5	1.9	3.8	3.3	0.9	3.8	2.8	1.9	-	3.3	24.4	
	20代 (597)	62.3	46.4	28.0	17.1	21.4	9.7	9.7	10.4	13.1	6.5	7.9	3.2	3.0	4.5	2.2	2.2	1.5	1.2	2.5	19.1	
30代 (403)	59.6	34.7	23.6	34.0	17.9	14.1	10.7	8.4	4.5	7.4	3.7	4.0	4.2	1.2	3.5	2.7	2.0	-	3.7	21.6		
個人年収別	200万円未満 (733)	62.9	43.2	27.3	22.1	19.2	11.9	10.0	9.1	10.9	5.9	6.3	3.4	2.3	3.3	2.6	2.3	1.2	0.5	2.9	19.8	
	200万円以上 (246)	57.3	38.6	24.0	29.7	22.4	9.8	11.0	11.4	6.5	10.2	6.5	4.1	7.3	3.3	3.3	2.8	3.3	1.2	3.7	19.5	
世帯年収別	200万円未満 (257)	61.5	39.7	22.6	20.6	18.3	10.5	10.5	7.0	11.3	5.8	6.2	3.1	1.9	3.9	3.1	1.9	1.9	0.4	2.3	23.0	
	200~400万円未満 (291)	60.5	38.5	23.7	29.2	21.3	13.7	13.4	9.6	8.9	7.6	7.2	4.1	4.5	2.7	3.1	4.1	2.4	1.0	3.8	18.9	
	400~600万円未満 (185)	62.2	48.6	30.3	23.2	21.1	15.1	9.2	11.4	7.0	9.2	7.0	5.4	5.9	1.6	2.2	1.6	2.2	0.5	4.3	15.7	
	600~800万円未満 (108)	57.4	46.3	27.8	26.9	19.4	6.5	5.6	10.2	9.3	4.6	4.6	3.7	4.6	5.6	3.7	0.9	0.9	0.9	1.9	19.4	
	800万円以上 (129)	66.7	42.6	34.9	19.4	20.2	7.0	8.5	12.4	13.2	6.2	5.4	0.8	0.8	3.1	1.6	2.3	-	0.8	2.3	19.4	
一般全体	(500)	76.2	32.4	42.6	45.0	24.8	10.8	3.6	11.4	12.2	15.2	5.6	9.2	6.6	2.2	3.6	3.2	3.0	0.6	2.0	11.6	

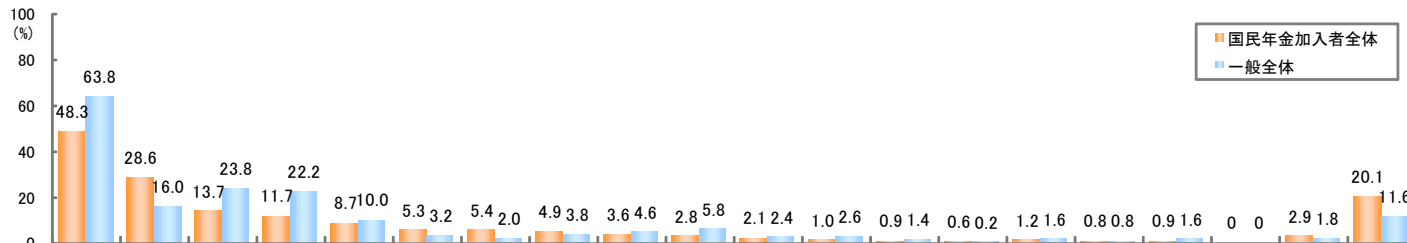
【基数：対象者全員】

1)-2 年金に対する意識や行動に影響を与えた上位3つのメディア情報源(Q13-2)

■ 特に影響を受けたものとみると、国民年金加入者・一般ともに「テレビのニュースや番組」が突出している。特に一般では6割強にのぼり、他のメディアを圧倒している。

➢ 世帯年収800万円以上で、「テレビのニュースや番組」「新聞記事」を挙げる割合が高い。

Q13-2. その中で、あなたが特に影響を受けたものを3つまでお選びください。



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■全体 ≥ 10pt
 ■全体 ≥ 5pt
 ■全体 ≤ 5pt
 ■全体 ≤ 10pt

	(N)	テレビのニュースや番組	家族との会話	新聞記事	ねんきん定期便、特別便	友人・知人との会話	日本年金機構から送られてくるダイレクトメール	日本年金機構からの催状・督促状	年金について書かれた出版物	勤務先や学校からの年金に関する情報	雑誌記事	レットや小冊子、パンフ	ラジオのニュース・番組	個人年金など資産形成に関する情報	交通広告や街頭・店頭	年金事務所の担当者	自治体などの年金担当者	社会保険労務士やファイナンシャルプランナーなどの専門家	市民を対象にしたセミナー、教室など	その他	影響を受けたものはない
国民年金加入者全体	(1000)	48.3	28.6	13.7	11.7	8.7	5.3	5.4	4.9	3.6	2.8	2.1	1.0	0.9	0.6	1.2	0.8	0.9	-	2.9	20.1
納付状況	完納者 (371)	46.9	33.7	15.1	13.5	7.8	4.6	1.9	4.0	3.0	3.0	2.2	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	-	3.2	17.3
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	37.3	23.5	9.8	11.8	3.9	7.8	11.8	5.9	2.0	7.8	5.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	-	25.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	36.0	24.0	5.3	10.7	14.7	4.0	13.3	4.0	2.7	-	-	-	1.3	-	1.3	-	1.3	-	-	33.3
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	52.3	26.0	14.3	10.5	8.9	5.8	6.2	5.6	4.4	2.6	2.0	0.6	1.0	0.6	1.6	1.0	1.4	-	3.4	19.7
性別	男性 (501)	44.1	22.0	16.6	11.8	6.6	4.2	4.8	6.0	2.6	4.0	2.2	1.4	1.4	0.6	1.8	0.8	1.4	-	3.6	24.2
	女性 (499)	52.5	35.3	10.8	11.6	10.8	6.4	6.0	3.8	4.6	1.6	2.0	0.6	0.4	0.6	0.6	0.8	0.4	-	2.2	16.0
年齢別	20~24歳 (395)	49.9	32.7	15.7	6.6	9.6	5.8	5.8	6.8	4.8	2.3	2.8	1.3	1.0	1.3	0.5	0.5	1.0	-	2.3	18.5
	25~29歳 (202)	49.0	30.7	17.3	12.9	8.9	3.0	4.0	2.5	5.0	3.5	2.0	1.0	1.5	-	1.0	0.5	0.5	-	2.5	20.3
	30~34歳 (190)	49.5	24.7	12.6	17.4	6.3	5.8	5.8	4.2	2.1	3.7	3.2	1.1	-	0.5	2.6	0.5	1.1	-	4.2	18.4
	35~39歳 (213)	43.7	22.5	7.5	15.0	8.9	6.1	5.6	4.2	1.4	2.3	-	0.5	0.9	-	1.4	1.9	0.9	-	3.3	24.4
	20代 (597)	49.6	32.0	16.2	8.7	9.4	4.9	5.2	5.4	4.9	2.7	2.5	1.2	1.2	0.8	0.7	0.5	0.8	-	2.3	19.1
	30代 (403)	46.4	23.6	9.9	16.1	7.7	6.0	5.7	4.2	1.7	3.0	3.0	1.5	0.7	0.5	2.0	1.2	1.0	-	3.7	21.6
個人年収別	200万円未満 (733)	50.8	29.9	14.9	11.2	8.7	5.9	5.2	4.6	4.0	2.6	2.2	1.2	0.4	0.3	1.2	0.7	0.7	-	2.7	19.8
	200万円以上 (246)	41.9	26.8	10.6	13.0	8.5	3.3	6.1	5.7	2.8	3.3	2.0	0.4	2.4	1.6	1.2	1.2	1.6	-	3.7	19.5
世帯年収別	200万円未満 (257)	48.2	28.0	11.7	11.7	6.2	7.0	6.2	3.9	5.1	2.7	3.5	0.8	0.8	0.4	1.6	0.4	1.2	-	2.3	23.0
	200~400万円未満 (291)	47.1	26.1	12.0	13.4	10.3	4.1	6.5	4.8	3.4	3.8	2.4	1.4	1.0	0.7	1.4	1.0	0.7	-	3.4	18.9
	400~600万円未満 (185)	48.6	31.9	15.1	10.8	10.3	7.6	4.9	5.4	2.2	3.2	1.1	0.5	1.1	0.5	1.6	1.1	1.6	-	4.3	15.7
	600~800万円未満 (108)	47.2	35.2	12.0	13.0	7.4	2.8	2.8	3.7	3.7	0.9	0.9	1.9	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	1.9	19.4
	800万円以上 (129)	53.5	29.5	21.7	8.5	8.5	3.1	4.7	7.0	3.9	1.6	1.6	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	-	2.3	19.4
一般全体	(500)	63.8	16.0	23.8	22.2	10.0	3.2	2.0	3.8	4.6	5.8	2.4	2.6	1.4	0.2	1.6	0.8	1.6	-	1.8	11.6

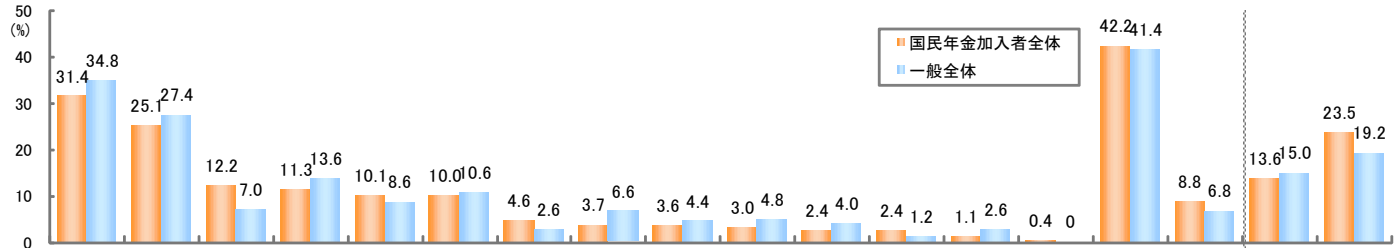
【基数：対象者全員】

2)-1 年金に対する意識や行動に影響を与えたインターネット情報(Q14-1)

■ 公的年金制度に関する考えや行動に影響を与えたインターネット情報では、国民年金加入者・一般ともに「ニュースサイト」「検索サイトやプロバイダのポータルサイト」「日本年金機構のホームページやツイッター、ねんきんネット」が上位に挙がるが、「影響を受けたものはない」人も4割強と多くなる。

- 短期滞納者で「日本年金機構のホームページやツイッター、ねんきんネット」を挙げる割合が高い。
- 男性は女性に比べて「ニュースサイト」を挙げる割合が高く、スコア差が顕著となっている。

Q14-1. PCや携帯電話、スマートフォンなどのインターネット上のどのような情報が、あなたの公的年金制度に関する考えや行動に影響を与えたと思われますか。(複数回答)



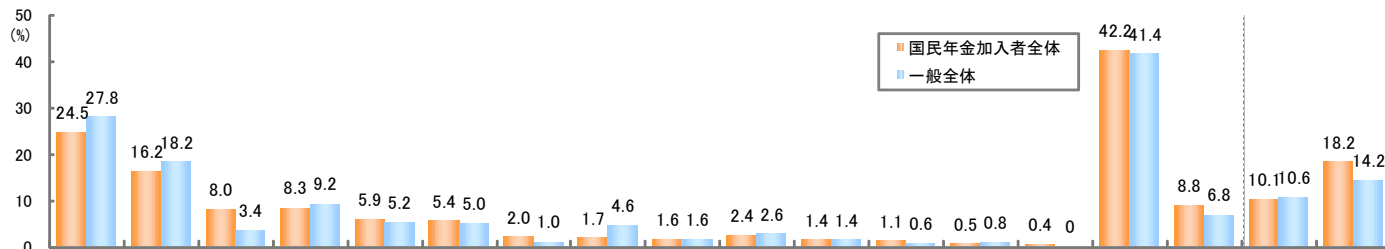
* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≤ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	ニュースサイト	検索サイトのポータルサイト	インターネットの掲示板	日本年金機構のホームページ	一般の人々のホームページ	インターネットのQ&Aサイト	ツイッターによるクチコミ情報	生活設計やマナー関連の情報サイト	厚生労働省のホームページ	社会保険労務士の個人ホームページなど	市区町村などの自治体が開設するサイト	動画投稿サイト	メールマガジン	その他	影響を受けたものはない	インターネットを利用していない	厚生省/自治体年金機構のサイト・計	TWITTER等のサイト・LINE計
国民年金加入者全体	(1000)	31.4	25.1	12.2	11.3	10.1	10.0	4.6	3.7	3.6	3.0	2.4	2.4	1.1	0.4	42.2	8.8	13.6	23.5
納付状況	完納者 (371)	29.4	24.3	10.5	10.8	8.6	8.9	3.8	4.0	2.7	3.2	1.1	0.8	0.3	0.8	43.4	8.6	12.1	20.2
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	35.3	23.5	9.8	21.6	13.7	13.7	3.9	3.9	5.9	2.0	2.0	5.9	-	-	45.1	7.8	21.6	25.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	30.7	14.7	10.7	10.7	12.0	10.7	6.7	2.7	2.7	2.7	2.7	1.3	1.3	-	36.0	18.7	12.0	26.7
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	32.6	27.4	13.3	10.7	10.5	10.3	5.0	3.6	4.2	3.0	3.0	3.4	3.4	1.8	0.2	41.9	7.6	14.1
性別	男性 (501)	36.5	26.9	16.4	12.6	10.8	10.2	4.4	4.8	4.2	3.6	2.0	3.4	1.6	0.2	36.5	9.6	14.6	26.5
	女性 (499)	26.3	23.2	8.0	10.0	9.4	9.8	4.8	2.6	3.0	2.4	2.8	1.4	0.6	0.6	47.9	8.0	12.6	20.4
年齢別	20~24歳 (395)	31.6	29.9	10.6	10.6	9.1	8.1	7.8	3.0	4.3	2.8	2.3	2.5	2.0	0.3	38.7	10.1	13.2	23.3
	25~29歳 (202)	33.2	25.7	20.8	11.4	9.4	13.9	3.5	3.0	3.5	1.5	4.0	4.0	0.5	-	38.1	8.4	14.4	30.2
	30~34歳 (190)	34.2	24.2	8.9	12.6	8.9	8.4	2.1	3.2	2.6	3.2	0.5	1.1	0.5	-	44.2	7.9	13.7	18.9
	35~39歳 (213)	26.8	16.4	9.9	11.3	13.6	11.3	1.9	6.1	3.3	4.7	2.8	1.9	0.5	1.4	50.7	7.5	13.6	21.6
	20代 (597)	32.2	28.5	14.1	10.9	9.2	10.1	6.4	3.0	4.0	2.3	2.8	3.0	1.5	0.2	38.5	9.5	13.6	25.6
個人年収別	200万円未満 (733)	30.4	24.7	11.6	11.2	8.6	9.0	5.2	2.7	2.7	3.1	2.0	2.2	1.2	0.4	43.1	9.4	13.2	22.4
	200万円以上 (246)	34.6	27.2	14.2	12.2	14.2	12.6	2.8	6.5	6.1	2.8	3.3	3.3	0.8	0.4	38.6	6.5	15.4	27.6
世帯年収別	200万円未満 (257)	30.7	17.9	12.8	11.3	9.3	10.1	5.8	1.9	3.5	2.7	1.9	3.1	1.2	0.4	45.1	7.8	13.2	24.1
	200~400万円未満 (291)	32.6	27.5	14.8	9.3	11.0	13.4	3.8	5.8	3.4	3.1	2.7	2.4	1.4	0.3	41.6	8.2	11.3	27.1
	400~600万円未満 (185)	31.9	25.9	10.3	14.1	11.4	9.2	3.8	4.9	3.2	1.6	2.2	3.2	0.5	1.1	39.5	9.7	16.8	22.2
	600~800万円未満 (108)	26.9	29.6	13.0	13.9	13.0	7.4	2.8	2.8	2.8	3.7	0.9	-	-	-	37.0	13.0	13.9	21.3
	800万円以上 (129)	33.3	31.8	8.5	10.9	5.4	5.4	6.2	1.6	5.4	5.4	3.9	2.3	2.3	-	43.4	6.2	16.3	20.2
一般全体	(500)	34.8	27.4	7.0	13.6	8.6	10.6	2.6	6.6	4.4	4.8	4.0	1.2	2.6	-	41.4	6.8	15.0	19.2

【基数: 対象者全員】

- 特に影響を受けたものでても、影響を受けたメディアでは国民年金加入者・一般ともに「ニュースサイト」「検索サイトやプロバイダのポータルサイト」が中心。
- 20～24歳では「検索サイトやプロバイダのポータルサイト」を挙げる割合が比較的高い。また、30代は20代に比べて影響を受けたインターネット情報は少なく、半数近くが「ない」と回答した。

Q14-2. その中で、あなたが特に影響を受けたものを3つまでお選びください。



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体≥10pt
 ■ 全体≥5pt
 ■ 全体≤-5pt
 ■ 全体≤-10pt

	(N)	ニュースサイト	検索サイトのポータルサイト	インターネットの掲示板	日本年金機構のホームページ	一般の人のホームページ	インターネットのQ&Aサイト	ツイッターやライン	生活設計やマネー関連の情報サイト	厚生労働省のホームページ	社会保険労務士のホームページ	市区町村などの自治体が開設するサイト	動画投稿サイト	メールマガジン	その他	影響を受けたものはない	インターネットを利用していない	厚生省／自治体機構	Tw／SNS等のサイト・E計
国民年金加入者全体	(1000)	24.5	16.2	8.0	8.3	5.9	5.4	2.0	1.7	1.6	2.4	1.4	1.1	0.5	0.4	42.2	8.8	10.1	18.2
納付状況	完納者 (371)	22.9	17.0	7.3	8.9	5.9	5.1	1.3	2.4	1.3	3.2	0.8	0.3	0.3	0.8	43.4	8.6	9.7	16.4
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	27.5	15.7	3.9	9.8	9.8	9.8	-	2.0	-	2.0	-	5.9	-	-	45.1	7.8	9.8	19.6
	中長期滞納(7～24ヶ月) (75)	20.0	10.7	8.0	6.7	5.3	5.3	1.3	1.3	-	1.3	2.7	-	1.3	-	36.0	18.7	9.3	18.7
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	26.0	16.5	8.9	8.0	5.6	5.2	2.8	1.2	2.2	2.0	1.8	1.4	0.6	0.2	41.9	7.6	10.5	19.3
性別	男性 (501)	28.1	17.4	10.6	9.4	6.2	4.6	1.6	2.4	1.6	2.6	0.8	1.6	0.8	0.2	36.5	9.6	10.6	20.6
	女性 (499)	20.8	15.0	5.4	7.2	5.6	6.2	2.4	1.0	1.6	2.2	2.0	0.6	0.2	0.6	47.9	8.0	9.6	15.8
年齢別	20～24歳 (395)	24.6	22.0	7.1	7.8	5.1	3.3	4.6	1.3	1.8	2.3	1.0	1.0	0.8	0.3	38.7	10.1	9.9	16.7
	25～29歳 (202)	26.7	14.9	15.8	8.4	5.0	8.9	-	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	-	-	38.1	8.4	9.4	25.2
	30～34歳 (190)	27.4	13.7	4.2	8.4	5.3	5.3	0.5	2.1	2.1	2.6	0.5	1.1	0.5	-	44.2	7.9	9.5	13.7
	35～39歳 (213)	19.7	8.9	5.6	8.9	8.9	6.1	0.5	2.8	1.4	3.8	2.3	1.4	0.5	1.4	50.7	7.5	11.7	18.3
	20代 (597)	25.3	19.6	10.1	8.0	5.0	5.2	3.0	1.2	1.5	1.8	1.3	1.0	0.5	0.2	38.5	9.5	9.7	19.6
30代 (403)	23.3	11.2	5.0	8.7	7.2	5.7	0.5	2.5	1.7	3.2	1.5	1.2	0.5	0.7	47.6	7.7	10.7	16.1	
個人年取別	200万円未満 (733)	24.4	15.8	7.9	8.3	4.9	4.4	2.3	1.1	1.5	2.5	1.2	1.1	0.4	0.4	43.1	9.4	10.0	17.3
	200万円以上 (246)	25.2	17.9	8.5	8.9	8.1	8.1	1.2	3.7	2.0	2.4	2.0	1.2	0.8	0.4	38.6	6.5	11.4	21.1
世帯年取別	200万円未満 (257)	25.7	10.9	8.9	8.6	5.1	5.1	2.7	-	1.9	1.9	1.2	1.6	0.8	0.4	45.1	7.8	10.5	18.7
	200～400万円未満 (291)	24.4	16.2	10.3	6.2	6.9	7.6	1.4	2.7	1.7	2.1	1.7	0.7	1.0	0.3	41.6	8.2	7.9	21.3
	400～600万円未満 (185)	25.4	15.1	6.5	10.8	7.0	5.4	1.6	3.2	1.1	1.6	1.6	1.1	-	1.1	39.5	9.7	13.0	16.2
	600～800万円未満 (108)	21.3	24.1	7.4	11.1	7.4	3.7	0.9	0.9	0.9	3.7	0.9	-	-	-	37.0	13.0	11.1	16.7
	800万円以上 (129)	24.0	23.3	4.7	7.8	1.6	2.3	3.9	1.6	2.3	4.7	1.6	2.3	-	-	43.4	6.2	10.9	16.3
一般全体	(500)	27.8	18.2	3.4	9.2	5.2	5.0	1.0	4.6	1.6	2.6	1.4	0.6	0.8	-	41.4	6.8	10.6	14.2

【基数: 対象者全員】

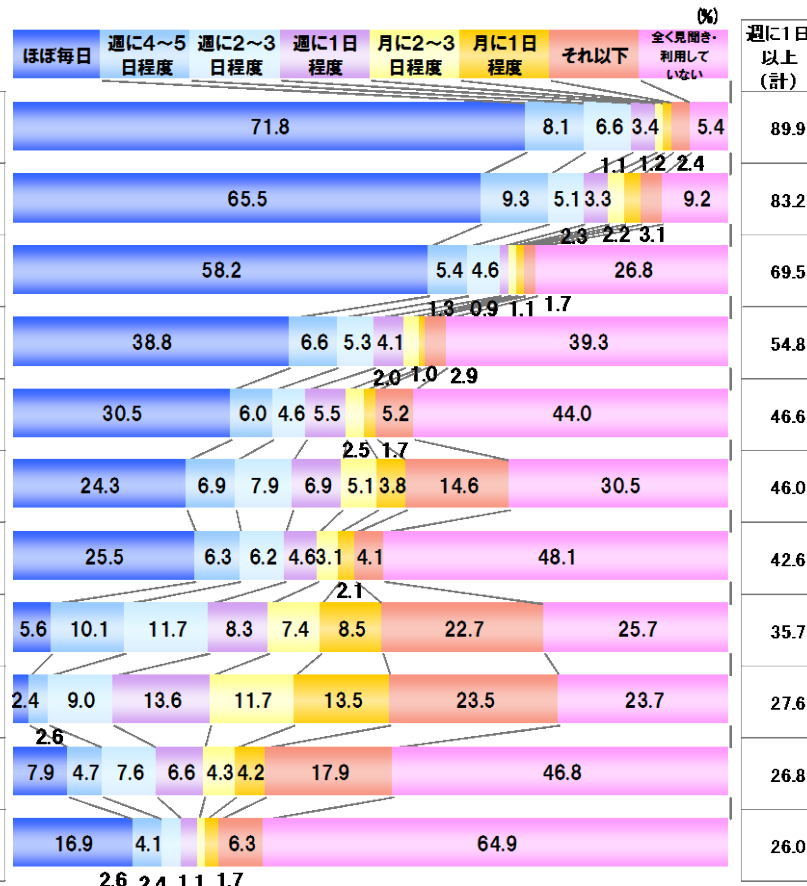
1) 日常のメディア接触頻度(Q27)

■ 日常のメディア接触頻度(週1日以上)では、「テレビ」が9割弱でトップ。以下、「パソコンなどでのインターネット」(83%)、「スマートフォンでのインターネット」(70%)、「LINE」(55%)等のインターネットメディアが5割以上で続く。

- 「スマートフォンでのインターネット」「LINE」は男性よりも女性で接触頻度が高い。また、20~24歳では「Facebook」や「交通広告や屋外広告」の週1日以上接触率が5割前後と高くなる。特に、「交通広告や屋外広告」は25歳以上との差が顕著。
- 世帯年収800万円以上で各メディアの週1日以上接触率が高い傾向にある。

Q27. あなたは以下の1~11をそれぞれどのくらいの頻度で見聞き・利用していますか。(単一回答)

<週1日以上(計)>



【基数: 国民年金加入者】(N=1000)

	(N)	テレビ	パソコンなどでのインターネット ※Eメールのみの利用は除く	スマートフォンでのインターネット	LINE	Twitter	新聞	Facebook	交通広告や屋外広告	雑誌	ラジオ	携帯電話・PHSでのみの利用は除く
国民年金加入者全体	(1000)	89.9	83.2	69.5	54.8	46.6	46.0	42.6	35.7	27.6	26.8	26.0
納付状況												
完納者	(371)	90.0	82.2	60.9	45.8	42.6	50.7	37.0	35.9	27.3	30.7	25.9
短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	94.1	80.3	74.5	49.1	41.1	35.3	45.1	35.3	31.4	31.4	21.5
中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	86.6	65.3	72.0	52.0	37.3	40.0	30.6	24.0	20.0	25.3	24.0
免除・若者猶予・学生特例	(503)	89.9	86.9	74.9	62.4	51.5	44.6	48.3	37.4	28.6	23.7	26.9
性別												
男性	(501)	87.9	91.6	59.5	42.9	48.3	54.9	39.4	34.9	32.7	32.0	27.8
女性	(499)	92.0	74.7	79.5	66.7	44.9	37.0	45.9	36.5	22.4	21.6	24.2
年齢別												
20~24歳	(395)	90.4	82.5	82.5	74.1	59.5	43.6	53.6	47.1	29.4	22.5	28.9
25~29歳	(202)	88.1	79.7	69.8	52.9	39.6	45.6	40.6	28.2	27.2	25.7	21.3
30~34歳	(190)	91.1	83.1	62.1	40.5	37.8	45.2	33.1	28.5	26.8	29.5	27.9
35~39歳	(213)	89.6	87.7	51.6	33.3	37.1	51.6	32.4	28.2	25.3	33.3	23.5
20代	(597)	89.6	81.6	78.2	67.0	52.8	44.3	49.3	40.7	28.6	23.6	26.3
30代	(403)	90.3	85.6	56.6	36.7	37.4	48.7	32.7	28.3	26.1	31.5	25.5
個人年収別												
200万円未満	(733)	90.5	83.4	67.6	54.1	47.8	46.1	41.8	34.6	26.6	25.8	24.6
200万円以上	(246)	88.2	84.2	74.8	57.7	43.1	46.7	46.7	40.3	31.8	30.9	30.9
世帯年収別												
200万円未満	(257)	84.0	83.6	66.5	52.9	45.5	27.6	40.4	27.6	21.8	21.0	23.4
200~400万円未満	(291)	88.6	78.0	65.3	48.8	42.6	37.2	40.6	28.9	23.7	27.2	28.9
400~600万円未満	(185)	94.0	85.9	73.0	56.2	43.8	56.8	44.3	45.9	28.1	33.0	28.6
600~800万円未満	(108)	91.7	87.9	68.5	54.6	53.7	63.9	44.5	46.3	38.0	28.7	22.3
800万円以上	(129)	96.1	90.7	79.0	69.8	56.6	74.4	51.9	46.5	38.7	29.5	25.6
一般全体	(500)	92.0	86.4	55.4	35.6	26.4	61.4	31.2	29.0	26.0	34.8	23.6

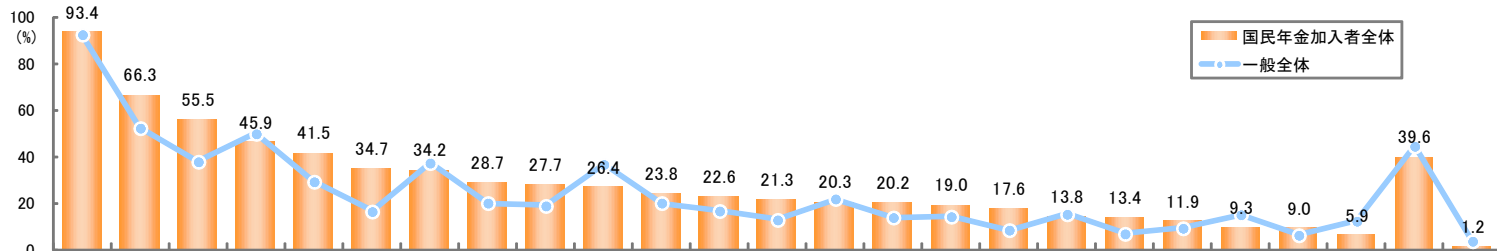
【基数: 対象者全員】

2)-1 インターネットサービスの直近3ヶ月の利用状況(Q28-1)

■ この3ヶ月間に利用したインターネットサービスでは、国民年金加入者・一般ともに「Eメール」が9割強でトップ。以下「無料動画の視聴」「LINEなどのテキストチャット」「メールマガジンの購読」等が上位に挙がる。

- 短期滞納者では、「ソフトウェアのダウンロード」「ソーシャルゲーム」の利用が3割以上と目立つ。
- 女性は男性に比べて「LINEなどのテキストチャット」の利用率が圧倒的に高く、7割弱に達する。
- 「LINEなどのテキストチャット」や「ツイッターの利用」は若年層ほど高くなる。反対に、「銀行取引」は年齢が上がるほど利用が高まる傾向にある。

Q28-1. インターネットをPC(タブレット型端末を含む)、携帯電話、スマートフォンから利用した際に、この3ヶ月間に利用したサービスをお知らせ下さい。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	Eメール	無料動画の視聴	LINEなどのテキストチャット	メールマガジンの購読	ブック、雑誌、新聞の購読	ソフトウェアのダウンロード	ツイッターの利用	キャンペーン・懸賞への応募	ソフトウェアのダウンロード	オンラインゲーム	銀行取引	クーポン	インターネットの視聴・聴取	ソーシャルゲーム	オークション	音楽ダウンロード	ブログの利用	SkyPeなどのボイスチャット	資料、カタログ請求	電子掲示板への書き込み・発言	壁紙のダウンロード	ネットスーパー	メルマガリストへの参加	株式取引	その他のオンラインショッピング	この中に利用したものはない
国民年金加入者全体	(1000)	93.4	66.3	55.5	45.9	41.5	34.7	34.2	28.7	27.7	26.4	23.8	22.6	21.3	20.3	20.2	19.0	17.6	13.8	13.4	11.9	9.3	9.0	5.9	39.6	1.2	
納付状況	完納者 (371)	94.1	63.9	45.6	41.5	35.6	27.5	33.7	26.4	25.6	29.6	20.2	21.0	15.6	19.4	17.8	18.3	14.0	12.4	11.9	10.8	8.4	8.9	8.6	47.4	0.8	
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	94.1	62.7	56.9	43.1	41.2	35.3	33.3	35.3	23.5	27.5	21.6	29.4	37.3	23.5	19.6	23.5	15.7	21.6	5.9	3.9	3.9	5.9	5.9	41.2	2.0	
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	88.0	56.0	50.7	49.3	40.0	29.3	32.0	28.0	26.7	24.0	14.7	21.3	21.3	26.7	18.7	21.3	8.0	16.0	14.7	4.0	8.0	1.3	9.3	32.0	4.0	
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	93.6	70.0	63.4	48.9	46.1	40.8	35.0	29.8	29.8	24.3	28.0	23.3	23.9	19.7	22.3	18.7	21.9	13.7	15.1	14.7	10.1	10.7	3.4	34.8	1.0	
性別	男性 (501)	92.4	71.9	42.9	42.3	35.9	35.1	31.3	35.1	31.9	35.7	18.4	28.1	22.6	22.2	21.6	16.8	19.2	12.0	17.4	10.6	9.6	10.4	10.6	40.7	1.6	
	女性 (499)	94.4	60.7	68.1	49.5	47.1	34.3	37.1	22.2	23.4	17.0	29.3	17.0	20.0	18.4	18.8	21.2	16.0	15.6	9.4	13.2	9.0	7.6	1.2	38.5	0.8	
年齢別	20~24歳 (395)	91.6	68.4	72.9	45.6	48.9	49.6	31.4	30.1	30.4	15.4	27.8	23.3	24.3	13.4	25.1	17.5	24.8	15.2	12.2	13.7	8.4	15.7	4.6	29.1	1.0	
	25~29歳 (202)	96.0	68.3	59.4	45.0	40.1	28.7	33.7	33.7	29.2	27.2	21.3	24.3	18.8	22.3	21.3	20.3	19.8	13.4	18.8	13.4	6.9	7.4	5.0	40.6	-	
	30~34歳 (190)	94.2	61.6	39.5	46.8	37.4	23.7	38.9	27.9	24.2	32.1	21.1	21.6	21.1	23.2	14.2	19.5	7.4	13.2	12.1	8.9	11.1	4.2	6.8	47.4	2.1	
	35~39歳 (213)	93.4	64.8	33.8	46.5	32.9	22.5	35.7	22.1	24.4	40.8	21.1	20.7	18.3	28.6	15.5	20.2	11.3	12.2	11.7	9.9	11.7	2.3	8.5	51.2	1.9	
	20代 (597)	93.1	68.3	68.3	45.4	45.9	42.5	32.2	31.3	30.0	19.4	25.6	23.6	22.4	16.4	23.8	18.4	23.1	14.6	14.4	13.6	7.9	12.9	4.7	33.0	0.7	
30代 (403)	93.8	63.3	36.5	46.7	35.0	23.1	37.2	24.8	24.3	36.7	21.1	21.1	19.6	26.1	14.9	19.9	9.4	12.7	11.9	9.4	11.4	3.2	7.7	49.4	2.0		
個人年取別	200万円未満 (733)	93.6	67.5	54.7	47.5	41.3	36.6	35.6	27.3	27.3	21.8	24.6	21.4	21.6	18.6	20.6	19.1	16.6	13.5	13.1	13.0	9.0	9.0	4.4	38.7	1.2	
	200万円以上 (246)	93.5	63.4	57.7	42.7	43.1	28.9	30.9	33.3	28.9	40.7	22.0	26.4	20.3	25.2	19.1	19.5	20.3	15.4	14.2	9.3	10.6	8.9	10.6	43.1	0.8	
世帯年取別	200万円未満 (257)	93.4	66.1	54.9	46.3	37.7	36.2	36.6	25.7	24.1	20.6	22.2	24.1	23.3	13.2	17.5	18.3	18.7	12.8	14.0	13.2	6.2	10.1	3.1	38.9	1.6	
	200~400万円未満 (291)	94.5	64.3	51.5	46.4	44.3	32.3	36.1	27.5	28.5	30.9	22.7	20.3	18.9	24.1	19.2	23.0	12.7	15.1	12.7	10.3	12.0	5.8	6.9	43.3	1.4	
	400~600万円未満 (185)	93.0	66.5	55.1	45.9	40.0	26.5	28.1	27.6	30.8	27.0	24.3	18.9	21.1	22.7	17.3	15.1	18.9	10.8	13.0	8.1	9.2	8.6	5.9	39.5	1.1	
	600~800万円未満 (108)	96.3	72.2	50.0	42.6	47.2	42.6	35.2	38.9	25.0	31.5	26.9	27.8	24.1	24.1	26.9	20.4	18.5	16.7	13.9	18.5	7.4	11.1	7.4	39.8	-	
800万円以上 (129)	93.0	68.2	69.0	48.1	42.6	41.9	34.1	32.6	30.2	25.6	27.1	26.4	18.6	20.2	26.4	17.8	24.0	15.5	14.0	13.2	12.4	12.4	8.5	36.4	0.8		
一般全体	(500)	92.4	52.2	37.8	49.8	29.2	16.4	37.2	20.0	18.8	36.6	20.0	16.6	12.8	21.8	13.8	14.2	8.4	15.2	6.8	9.2	15.0	6.2	12.2	44.4	3.6	

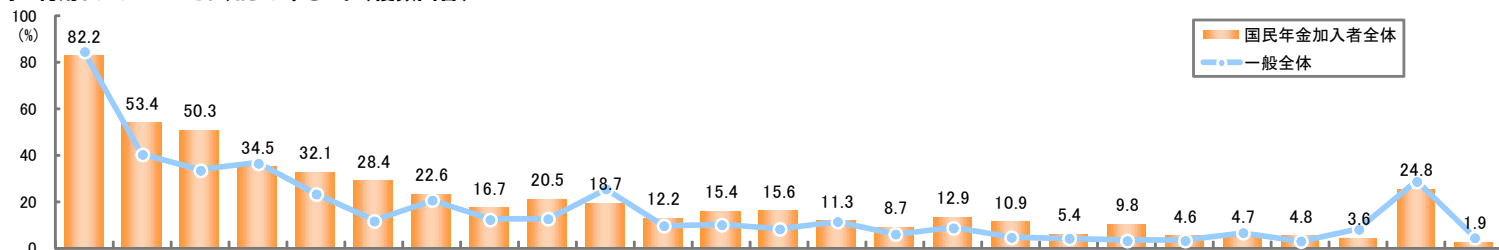
【基数:対象者全員】

2)-2 インターネットサービスの直近1週間の利用状況(Q28-2)

■ 最近1週間に利用したインターネットサービスでも、国民年金加入者・一般ともに「Eメール」が8割強でトップ。以下「無料動画の視聴」「LINEなどのテキストチャット」「メールマガジンの購読」等が3割以上で上位に挙がる。

- 短期滞納者では、「ソーシャルゲーム」や「音楽ダウンロード」の利用がやや目立つ。
- 女性は男性に比べて「LINEなどのテキストチャット」の利用率が圧倒的に高く、6割強に達する。
- 最近3ヶ月間の利用と同様「LINEなどのテキストチャット」や「ツイッターの利用」は若年層ほど、「銀行取引」は年齢が上がるほど利用が高まる傾向にある。

Q28-2. また、その中で最近1週間に利用したサービスをお知らせ下さい。(複数回答)



* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	Eメール	無料動画の視聴	LINEなどのテキストチャット	メールマガジンの購読	ブック、雑誌、新聞の購読	ツイッターの利用	キャンペーン・懸賞への応募	ソフトウェアのダウンロード	オンラインゲーム	銀行取引	クーポン	インターネットの放送・聴取	ソーシャルゲーム	オークション	音楽ダウンロード	ブログの利用	Skyypeなどのボイスチャット	資料、カタログ請求	電子掲示板への書き込み・発言	壁紙のダウンロード	ネットスーパー	メールマガジンへの参加	株式取引	その他のオンラインショッピング	この中に利用したものはない	
国民年金加入者全体	(1000)	82.2	53.4	50.3	34.5	32.1	28.4	22.6	16.7	20.5	18.7	12.2	15.4	15.6	11.3	8.7	12.9	10.9	5.4	9.8	4.6	4.7	4.8	3.6	24.8	1.9	
納付状況	完納者	(371)	83.0	50.7	40.2	31.8	27.5	21.0	21.8	13.2	19.7	20.5	10.2	14.6	10.8	10.0	7.0	12.4	9.2	5.1	8.4	3.8	3.5	4.3	4.3	25.9	1.1
	短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	86.3	49.0	49.0	33.3	37.3	29.4	21.6	21.6	15.7	23.5	9.8	19.6	25.5	13.7	15.7	17.6	7.8	7.8	3.9	-	3.9	-	5.9	33.3	2.0
	中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	76.0	48.0	49.3	38.7	30.7	24.0	22.7	17.3	22.7	14.7	8.0	16.0	14.7	17.3	4.0	17.3	4.0	9.3	9.3	2.7	2.7	1.3	6.7	25.3	8.0
	免除・若者猶予・学生特例	(503)	82.1	56.7	58.1	31.9	35.2	34.4	23.3	18.7	21.3	17.5	14.5	15.5	18.3	11.1	9.9	12.1	13.5	4.8	11.5	6.0	6.0	6.2	2.4	23.1	1.6
性別	男性	(501)	81.6	60.5	37.1	31.9	26.5	27.3	20.6	19.0	25.1	25.9	9.6	20.4	16.6	13.2	9.2	11.0	12.2	3.6	12.8	3.2	5.2	5.8	6.6	25.5	2.0
	女性	(499)	82.8	46.3	63.5	37.1	37.7	29.5	24.6	14.4	15.8	11.4	14.8	10.4	14.6	9.4	8.2	14.8	9.6	7.2	6.8	6.0	4.2	3.8	0.6	24.0	1.8
年齢別	20~24歳	(395)	79.5	54.9	68.1	32.9	38.0	42.3	18.7	18.0	20.8	10.1	13.7	14.2	18.7	7.3	11.1	10.1	14.7	5.3	9.6	6.1	4.6	8.9	2.5	17.2	1.3
	25~29歳	(202)	84.2	51.5	55.0	34.7	30.2	23.3	22.3	20.8	22.3	19.3	12.9	17.8	15.3	13.9	11.4	13.9	12.4	6.4	12.9	5.9	3.5	5.0	3.0	28.2	0.5
	30~34歳	(190)	81.1	49.5	32.6	38.4	29.5	17.4	28.9	14.7	17.9	22.1	8.9	16.8	12.6	13.7	5.3	14.7	4.7	3.7	7.9	1.6	5.3	1.1	3.7	26.8	4.2
	35~39歳	(213)	86.4	55.9	28.6	33.8	25.4	17.4	24.4	12.2	20.7	31.0	11.7	14.1	12.7	14.1	4.7	15.5	8.0	6.1	8.9	3.3	5.6	0.5	6.1	33.8	2.3
	20代	(597)	81.1	53.8	63.7	33.5	35.3	35.8	19.9	18.9	21.3	13.2	13.4	15.4	17.6	9.5	11.2	11.4	13.9	5.7	10.7	6.0	4.2	7.5	2.7	20.9	1.0
30代	(403)	83.9	52.9	30.5	36.0	27.3	17.4	26.6	13.4	19.4	26.8	10.4	15.4	12.7	13.9	5.0	15.1	6.5	5.0	8.4	2.5	5.5	0.7	5.0	30.5	3.2	
個人年取別	200万円未満	(733)	82.3	53.2	50.3	36.4	32.1	30.4	23.5	16.6	19.5	15.3	12.0	13.6	16.0	10.1	8.5	12.4	9.5	4.8	9.3	5.0	4.6	5.0	2.3	23.9	2.2
	200万円以上	(246)	82.5	54.1	50.0	30.1	33.3	22.4	21.5	17.5	23.6	29.3	13.0	21.1	14.2	14.6	9.3	15.4	14.2	7.3	11.4	3.7	5.3	4.5	7.3	28.5	0.8
世帯年取別	200万円未満	(257)	84.4	52.9	49.4	36.2	30.0	30.0	24.1	14.8	18.7	15.6	9.7	15.6	17.9	6.6	6.6	12.8	10.9	3.5	10.1	4.7	2.3	7.0	1.6	23.0	3.1
	200~400万円未満	(291)	80.4	51.9	46.0	33.3	35.1	27.1	24.4	17.5	22.7	23.0	12.7	15.5	13.1	13.4	8.2	17.9	6.9	6.2	9.3	4.5	5.8	2.1	4.1	25.1	2.1
	400~600万円未満	(185)	82.7	54.1	47.6	37.3	29.7	19.5	22.2	15.7	21.1	18.9	13.0	14.1	13.5	13.0	9.2	8.1	14.1	5.9	10.3	2.7	4.3	5.9	4.9	25.4	1.1
	600~800万円未満	(108)	88.0	62.0	47.2	32.4	33.3	32.4	20.4	23.1	16.7	17.6	13.0	17.6	19.4	11.1	11.1	14.8	11.1	5.6	9.3	8.3	5.6	3.7	3.7	27.8	0.9
	800万円以上	(129)	79.8	51.2	65.9	31.8	34.1	37.2	20.2	17.1	21.7	17.8	14.0	16.3	14.0	14.0	11.6	9.3	14.7	5.4	10.1	5.4	7.8	7.0	4.7	27.1	0.8
一般全体	(500)	84.4	40.2	33.4	36.4	23.2	11.6	20.6	12.2	12.6	25.4	9.6	10.0	8.2	11.4	6.0	8.6	4.6	4.2	3.2	3.2	6.6	3.0	8.0	28.6	4.4	

【基数:対象者全員】